



あいち食育
いきいきレポート
2017



平成 29 年 7 月
愛知県食育推進会議

はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、平成 28 年 3 月に第 3 次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン 2020」を作成しました。

このプランで掲げた「食育の実践による健康で活力ある社会の実現」のために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々な連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、プランの初年度である平成 28 年度に行われた県内の食育推進の取組の中から、特に①「あいち食育いきいきプラン 2020」で新たに追加された取組、②新規性のある取組、③複数の関係者が連携して行った取組をレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域にあった食育推進の一助となれば幸いです。

マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

目次

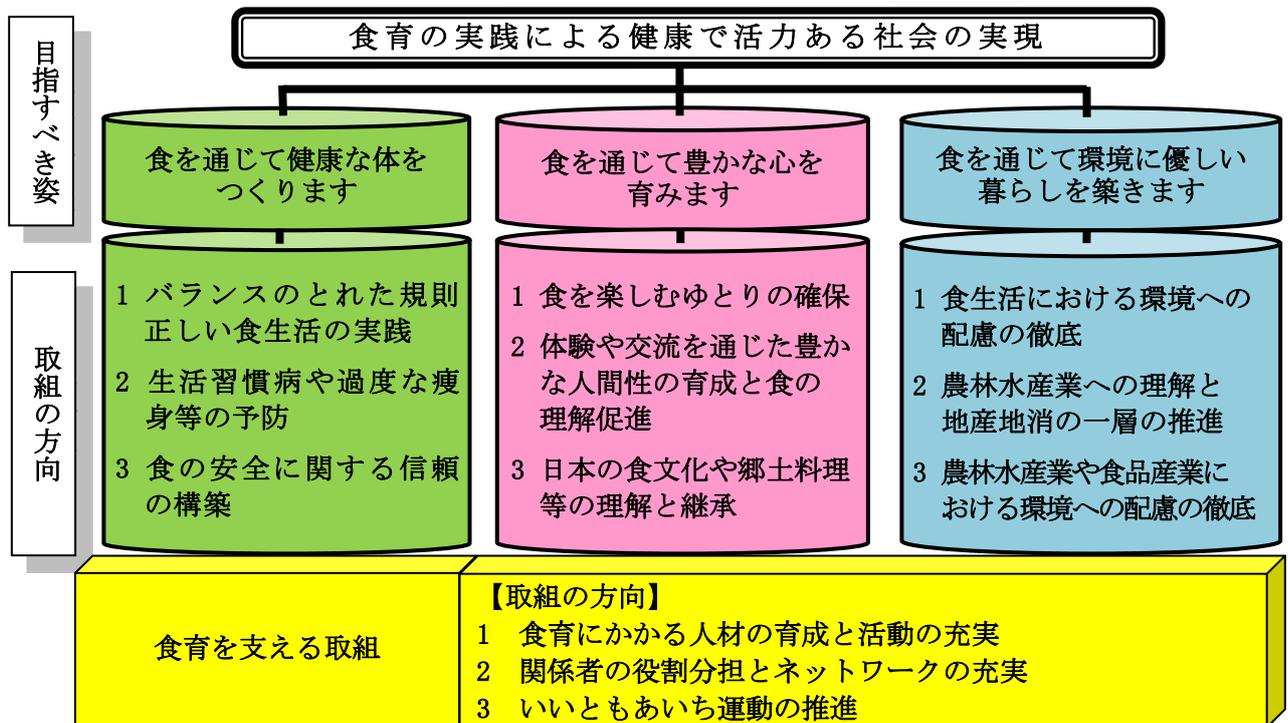
I	「あいち食育いきいきプラン 2020」について	1
II	平成 28 年度の主な取組の状況	3
	食を通じて健康な体をつくるために	3
1	バランスのとれた規則正しい食生活の実践	3
2	生活習慣病や過度な痩身等の予防	11
3	食の安全に関する信頼の構築	14
	食を通じて豊かな心を育むために	17
1	食を楽しむゆとりの確保	17
2	体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	19
3	日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	25
	食を通じて環境に優しい暮らしを築くために	32
1	食生活における環境への配慮の徹底	32
2	農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	34
3	農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	38
	食育を支える取組	39
1	食育にかかる人材の育成と活動の充実	39
2	関係者の役割分担とネットワークの充実	41
3	いいともあいち運動の推進	43
III	県や関係団体の取組一覧	45
IV	地域における食育活動の表彰実績について	56
V	食育推進に関する問合せ先	59

I 「あいち食育いきいきプラン 2020」について

「あいち食育いきいきプラン 2020」（第3次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画「あいち食育いきいきプラン」及び第2次食育推進計画「あいち食育いきいきプラン 2015」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するために平成28年3月に作成したものです。

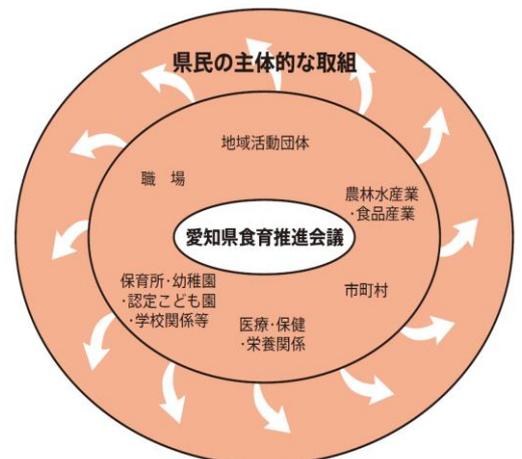
1 目指すべき姿と基本コンセプト

- このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- 規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、地産地消の推進や食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。



2 取組の特徴

- あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健全で豊かに暮らすためには、生涯を通じた中断のない食育が重要です。
このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



3 県や関係団体等の取組

以下では、取組を働きかける生活場面に下記のとおり表示

保幼 保育所・幼稚園 職場 勤務先
学校 小学校～大学 地域 その他の場所

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

■ 取組の体系

		保幼	学校	職場	地域		
目指すべき姿に向けての取組	食を通して健康な体をつくるために	バランスのとれた規則正しい食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●		●	
			イ 学校における小中学生への食に関する指導のさらなる充実		●		
			ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
			エ 高校における食育の充実		●		
			オ 青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進		●	●	●
			カ 妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進				●
			キ 高齢期における食による健康維持の推進				●
			ク 野菜摂取量を増やす取組の推進				●
			生活習慣病や過度な痩身等の予防	ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●	
	イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進	●		●			
	ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策			●			
	エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善のさらなる推進				●	●	
食の安全に関する信頼の構築	ア 食品表示の適正化の推進				●		
	イ 食の安全に関する情報提供や意見交換		●		●		
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進				●		
	エ 食品と医薬品との相互作用等に対する普及啓発				●		
オ 学校給食等における食物アレルギーへの対応	●	●					
食を楽しむゆとりの確保	食を通して豊かな心を育むために	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●			
		イ 家族や友人と食事をとるための環境整備			●		
		ウ 高齢者の孤食対策等			●		
	体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保	●			●	
		イ 少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実		●		●	
		ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供				●	
日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	ア 子どもに対する食事作法の習得	●	●		●		
	イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進	●	●	●	●		
	ウ 日本型食生活の推進、郷土料理等地域の食文化の継承				●		
食を通して環境に優しい暮らしを築くために	食生活における環境への配慮の徹底	ア 子どもに対する環境学習の推進		●			
		イ 環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践			●		
		ウ 環境に配慮した食生活の実践			●		
	農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進		●		●	
		イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●		●	
		ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●	●	
	エ 直売所における生産者と消費者の交流				●		
	農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用				●	
		イ 食品関連事業者における食品廃棄物等の削減				●	
ウ フードバンク活動の普及啓発					●		
食育を支える取組	食育にかかる人材の育成と活動の充実	ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●			
		イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●		
		ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実			●		
		エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進			●		
	オ 食育推進資料の作成や調査の実施			●			
	関係者の役割分担とネットワークの充実	ア 活動主体同士の情報共有と連携の強化		●		●	
		イ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有				●	
		ウ 食育に関する情報発信の充実				●	
	いいともあいち運動の推進	ア 運動の定着促進				●	
イ 協働活動の充実					●		
ウ 県産農林水産物の利用拡大					●		

Ⅱ 平成 28 年度の主な取組の状況



食を通じて健康な体をつくるために

乳幼児期から高齢期にいたるまで、ライフステージに応じた「バランスのとれた規則正しい食生活の実践」、子どもの肥満予防や思春期からの過度な痩身の予防、職場等での健康指導など「生活習慣病や過度な痩身等の予防」、及び「食の安全に関する信頼の構築」に取り組みました。

1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践

健康づくりチャレンジ推進事業「あいち健康チャレンジ」

愛知県健康対策課

●実施時期：平成 29 年 3 月 4 日～3 月 12 日

●対象者：県民

●内容

「平成 24 年度国民健康・栄養調査」で、愛知県の成人 1 日当たりの野菜摂取量は男女とも約 240 g（全国平均は約 280 g）で全国最下位でした。

目標とする野菜摂取量は約 350 g であり、現状では約 100 g 不足しています。

そこで県では『ベジトレ』を合言葉に、健康に関心が低いと思われる中高年男性や若者にも届くよう、生活の身近な場所から健康情報を一斉に発信する「健康づくりチャレンジ推進事業」のオープニングイベントを平成 29 年 3 月 4 日、5 日にオアシス 21 で開催しました。

さらに、オープニングイベント開催後から 1 週間程度、スーパーや飲食店、社員食堂など生活の身近な場所 404 か所に「あいち健康ステーション」を設置し、食と運動を中心とした健康情報の発信を行いました。

【あいち健康チャレンジのスローガン】

「食べて元気に もう 1 皿野菜を」 「動いて元気に もう 10 分」

●活動の成果、今後の課題

啓発イベントでは、アイドルをゲストに迎えたことで若者の来場者も多く、野菜や運動を始めとした健康への関心を高める呼びかけが幅広い年齢層に対してでき、参加した約 7 割の方に健康づくりへの関心を持っていただけました。

課題としては、イベントや事業の認知度が低かったということがあり、平成 29 年度からは実施期間を 1 か月に延ばすなど事業内容の拡大や、イベント同士の連携を行いながら、取り組んでいきたいと考えています。



〈取組項目：野菜摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

第 24 回知立市福祉健康まつり食育コーナー

知立市、食育推進ボランティアグループ米太郎、
生活協同組合コープあいち、愛知県西三河農林水産事務所農政課

●実施時期：平成 28 年 10 月 16 日

●対象者：幼児、児童、保護者

●内容

第 24 回知立市福祉健康まつりの食育コーナーにおいて、女性農業委員の食育推進ボランティアグループ「米太郎」による食育紙芝居（地元で採れた新鮮な野菜を食べよう）と生活協同組合コープあいちによる「野菜のクロスワードクイズ」が開催されました。

食育紙芝居では、「こめたろうとおにぎりの木」というタイトルで、地元で採れた野菜の素晴らしさを子どもたちに語りかけました。

また、女性農業委員の調達したイチジクやさつまいもに触れたり、野菜の名前をあてはめていくと、「あさからやさい」という言葉が浮かび上がる野菜のクロスワードクイズを行ったりと、野菜をおいしくバランスよく食べることの大切さを子どもたちに楽しく伝えることができ、大変盛況でした。

●活動の成果、今後の課題

野菜のクロスワードクイズは、「朝から野菜を採ることが大切だね、地元の新鮮な野菜を食べたいね」と、親子で会話が弾み、家庭の食事バランスの改善に向けた良い啓発ができたと思われます。農業者（米太郎）と消費者団体（コープあいち）が得意分野を活かして連携することができ、息の長い交流を続けていければ良いと思います。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：地域〉



食育活動の保護者への啓発

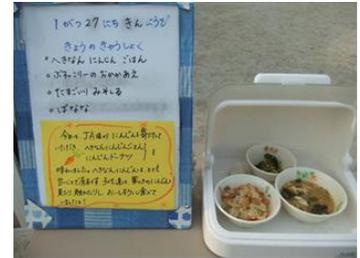
碧南市立天道保育園

●実施時期：平成 29 年 1 月

●対象者：保護者、園児

●内容

1月23日が「碧南人参の日」ということで、農協から人参の寄付をいただき、子どもへの食育活動を行いました。給食展示において、葉つきの人参を保護者にも触れられるように置いたり、子どもたちが喜んで食べていた様子を掲示したりと、園での食育活動を保護者にもつなげていけるようにと考えて取り組みました。



●活動の成果、今後の課題

展示された碧南人参や給食を見ながら、保護者同士で子どもの喜ぶ人参料理について会話を弾ませる様子も見られました。また、親子で「おいしかったよ」「今度うちでも作ってみようか」などと話している姿も見られました。



さらに掲示の回数を増やし、家庭とも連携のとれた食育を行っていくことが今後の課題です。

〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：保幼〉

愛知県内の小中学校での「こころとからだ」の健康教育

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：通年

●対象者：小中学生・保護者・教員

●内容

あいち健康の森健康科学総合センターでは、健康で望ましい生活習慣を実践する動機づけを図るために、愛知県内の小中学校と連携して出前健康教育を実施しており、学校側の要望に応じて、食事、運動、睡眠、こころなどの項目の中から企画しています。その中の食事については、朝食の重要性、食事の型、おやつとり方などをテーマとしています。

平成 28 年度は、市町村の小中学校 53 校、26,635 人に出前健康教育を実施しました。



●活動の成果、今後の課題

児童生徒対象の「授業前後食意識・食習慣調査アンケート」では、朝食摂食、食事バランスなどの項目で、授業直後及び 1 か月後に意識の改善がみられ、一部の学校では 1 か月後の食事内容やおやつ摂取頻度に改善がみられました。

今後は、新たなテーマの教材開発や、新たに高校生を対象にして、健康教育を広めたいと考えています。

〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の更なる充実〉

〈取組場面：学校〉

飛島村の野菜作りの達人から様々な技を学ぼう

飛島村立小中一貫教育校飛島小学校

●実施時期：平成 28 年 5 月～7 月

●対象者：5 年生の児童

●内容

飛島村の農業に理解を深め、食べ物を大事にし、感謝する気持ちを育みたいと考え、ナス・ピーマン・トマトなどの夏野菜を栽培することにし、地域の方の協力を得て、苗の植え方、栽培のポイントなどを学びました。

収穫できるまで成長を記録し、世話をし、収穫したナスは給食の味噌汁に入れて会食をしました。また、収穫したトマトを使い、村の「食生活改善委員」の協力のもと、スコーン作りに挑戦し、全生徒に配り試食しました。

●活動の成果、今後の課題

児童には、「ナスを収穫したときは、今までの苦労を思い出せてよかったです。」「スコーンを配りにいった学年からお礼の手紙をもらいうれしかった。」というような感想をいただきました。

仕事の大変さばかりでなく、仕事の楽しさややりがいを学ばせることも児童に夢を抱かせるために大切であると感じました。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の更なる充実〉

〈取組場面：学校〉

健康ランチの提供

尾張旭市、株式会社日本ゼネラルフード、あいち尾東農業協同組合

●実施時期：通年

●対象者：食堂利用者

●内容

市民や市職員の食習慣の改善につなげてもらえるよう、市役所食堂の事業者である株式会社日本ゼネラルフードに協力していただき、市役所の食堂で、毎週水曜日に栄養バランスを考慮した「健康ランチ」を提供しています。

期間限定で、市役所で育てた「緑のカーテン」のゴーヤ、あいち尾東農業協同組合から無償提供された尾張旭市産「ツルムラサキ」を取り入れたメニューを提供しました。

●活動の成果、今後の課題

身近な食堂で健康ランチを提供することで、市民や市職員に普段から食習慣に関心を持ってもらい、食生活の改善へつなげることができました。



健康ランチ例

- 野菜炒め
- 塩麴鶏天
- ご飯
- 味噌汁

〈取組項目：青年期以降の若い世代を中心とする食育の推進〉

〈取組場面：地域〉

☆キラッとかにえ 健幸ポイントカード(小学生)

蟹江町

●実施時期：平成28年12月～平成29年2月 ●対象者：小学生

●内容

「かにえ活き生きプラン21(第2次)」では、学齢期を「育ち・学びの世代」として、楽しく生活リズムを獲得するという目標を掲げています。

今年度は「キラッとかにえ健幸ポイント」の小学生版に取り組みました。

例えば、早寝早起き、朝ごはんを食べる、食べたら歯をみがく等の基本的な生活行動から、「ぼく、わたしのめあて」を自分で考えてもらい、実行したらポイントをつけます。

ポイントをためていくうちに、子どもたちは楽しく健康習慣が身につくようになりました。



●活動の成果、今後の課題

成果： 長期休暇前に学校からポイントカードを配布していただくことにより、親子で取り組むことができていました。

「脳を休める上手な睡眠のとりかた」の情報提供もでき、健康づくりに関する普及啓発の機会となったと思います。

課題： ポイントカードの提出先を身近にしていくことで、今後検討していく予定です。

〈取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援〉

〈取組場面：地域〉



大豆の加工総合的な学習の時間

愛知県小中学校長会（愛西市立開治小学校）

●実施時期：平成28年5月、平成29年2月 ●対象者：5、6年生の児童

●内容

5・6年生が、理科の単元を利用して大豆の種まきをしました。

鳥害に悩まされながら、大豆の成長を見守り、秋も深まった頃、大豆の収穫をしました。年明けの2月に、講師の方を招いて豆腐、味噌作りを行いました。

(1) 味噌作りについて（5年生）

5年生が大豆を洗い、順番に灰汁とりをしながら、寸胴鍋で柔らかくなるまで煮ました。その後、豆の種類や麴等についてのお話を聞き、それぞれの家で守ってきた味噌作りへの関心を高めました。

煮た大豆は潰し、麴、塩と一緒にかめに入れ、冷暗室に置いて、来年味噌が出来るのを待ちます。

(2) 豆腐作りについて（6年生）

豆腐の成分やにがりの働きについてお話を聞いた後、豆腐作りが始まりました。

茹でた大豆をつぶし、豆乳を絞り、おからをとりました。熱さと戦いながら、絞った豆乳に「にがり」を入れると、固まり始め、子どもたちから歓声が上がりました。

その後、昨年に味噌を仕込んだかめの中を確認しました。1年前の大豆とは全く様子が変わり味噌となっている、この変化にも子どもたちからは驚きの声があがりました。

確認後は早速この味噌と豆腐で、味噌汁を作った他、豆腐作りで採れたおからと小麦粉、バターでおからクッキーを作りました。

●活動の成果、今後の課題

味噌作りも豆腐作りも、初めて体験する児童が多かったです。

食材として、大豆は利用価値が高いことや、味噌や豆腐がもつ味や触感に触れたことで、日本人になじみ深い食材であることに子どもたちは改めて気付くことができたと思います。

また、味噌汁ひとつとっても、それぞれの家庭で味や調理方法が違い、それらが次の代へ伝承されていくことに感慨深げな様子でした。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導のさらなる充実〉

〈取組場面：学校〉

健康カレッジ「サルコペニア予防教室」

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：平成28年8月30日～10月25日、10月26日～12月21日

●対象者：介護いらずの体をめざしたい65歳以上の県民（希望者）

●内容

運動習慣の定着や食生活の見直しなどにより、筋力・筋量の低下を防ぎ、要介護状態への進行防止を目指す通所型教室を年間2コース（7回/コース）開催しました。

身体組成・血液データや、「基本チェックリストNo.11～12（低栄養状態判定）」で普段の食生活を振り返り、低栄養予防に必要な食事情報を愛知県研究開発事業で作成したパンフレットや、料理カード実習を用いて伝える等、今日・明日から実施してみようと思ってもらえる動機づけを行いました。

●活動の成果、今後の課題

教室後アンケート結果では、約75%の参加者から「役に立った」と回答があり、「食事講義では、料理カードを使用してバランスガイドに従って並び替えるといった、ゲーム感覚で食事バランスについて考えることができ、よかった。」との声もいただきました。



〈取組項目：高齢期における食による健康維持の推進〉

〈取組場面：地域〉

食育月間合同イベント

あいち食育サポート企業団

●実施時期：6月

●対象者：県民

●内容

「野菜摂取量の向上」「食文化の啓蒙」「朝食の大切さ」をテーマとして、企業団各社が共同でオリジナルレシピを開発し、愛知県内のショッピングセンター アピタの4店舗でレシピの調理体験イベントを行いました。

調理体験を通じて、栄養バランスの大切さと料理を作ることの楽しさを伝えるとともに、「いただきます・ごちそうさま」の由来についての紙芝居を行い、普段何気なく食べている食べ物が、実はとてもありがたいものであるということを学んでいただきました。

調理体験でつくった料理は、最後には参加者ご自身で食べて頂きました。

●活動の成果、今後の課題

イベント終了後のアンケートでは、「食育について考えるきっかけになった」等のご意見を多く頂きました。今後はより多くの方に参加して頂けるように、実施店舗数を増やすなどの取組を検討していきたいと考えています。



〈取組項目：野菜摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

ラブベジ・カフェ

丸進青果株式会社、内堀醸造株式会社、生活協同組合コープあいち

●実施時期：平成 28 年 12 月 3 日

●対象者：県民、生協組合員

●内容

生活協同組合コープあいち日進店レストスペースで「ラブベジ・カフェ」を開催し、50 名の方に参加していただきました。

前菜は野菜ソムリエのラブベジレッスン、講演のメインはお酢とのコラボでドレッシング作りでした。ドレッシングを作った後は 7 種の旬の野菜にかけて、美味しくあっという間に食べて頂きました。(野菜の量は約 350g+りんご、みかんです。)

《参加者の感想》

「野菜って大切だからいっぱい食べます。」「野菜のことあらためて話が聞けて良かったです。」「ドレッシングについていつも悩んでいたのので、本日教えて頂いたレシピを参考にしたいと思います。」「説明もポイントを教えて下さり端的で良かったです。」「楽しかった。子どもが野菜に興味をもってくれたのでよかったです。」

●活動の成果、今後の課題

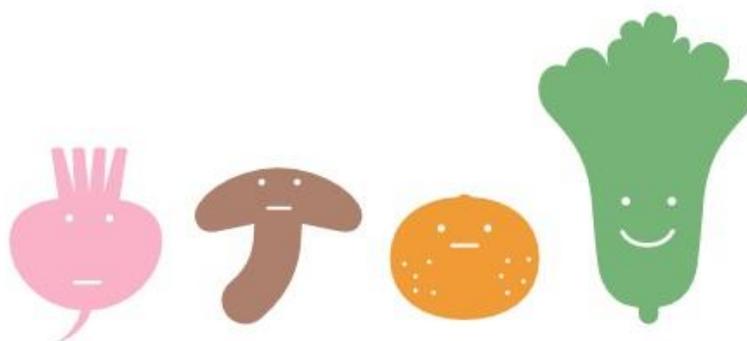
「食からの健康づくり」のテーマとして、バランスの良い食事や不足しがちな野菜を食べることなどを、野菜とお酢のコラボレーションを通して伝えていくこととしました。短時間でしたが、参加者は楽しみながら主旨を理解頂けた様に思います。

今後、ラブベジ・カフェのコンセプトを活かし、各地域で展開していければと思います。



〈取組項目：野菜摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉



2 生活習慣病や過度な痩身等の予防

第6回もっと噛んで歯ツピーレシピコンテスト

一般社団法人愛知県歯科医師会

●実施時期：募集（平成28年5月9日～9月6日）表彰式（平成28年11月20日）

●対象者：県内在住もしくは在勤、在学の者

●内容

生涯おいしく楽しく食べるためには、歯や口が健康でよく噛みながら食
べることが重要です。

このため、愛知県歯科医師会では、栄養バランスを考慮した「よく噛ん
で食べるように工夫を凝らしたオリジナルレシピ」作品を募集し、広く県
民に発信・普及することで「8020 健康長寿社会」を目指しています。

●活動の成果、今後の課題

当初は会員の歯科医院からの発信で始まり、現在では連携する組織から
の通知が出来るようになったことから、応募数は年々増加傾向にありま
す。

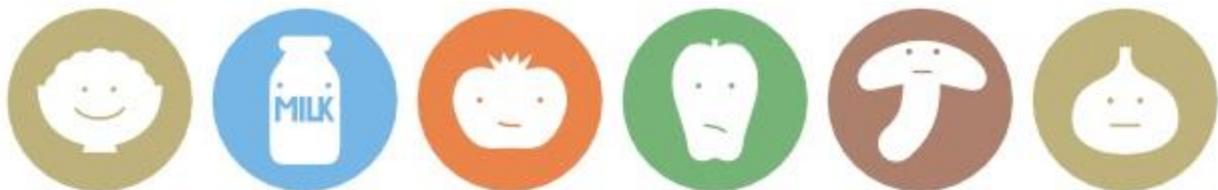
今後は「歯科と食育の関連」について、県行政を通して「県民に対する
周知と理解の広がり」を検討いただく必要があると考えます。

応募数：927 作品【キッズレシピ 582 点、地産池消 226 点、高齢者 119 点】



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼・学校〉



0歳児からの口腔機能育成研修会

一般社団法人愛知県歯科医師会

●実施時期：【1回目】平成28年6月16日【2回目】3月12日

●対象者：【1回目】県歯科医師会員及び会員スタッフ

【2回目】県民・愛知県内幼稚園・保育園教諭・行政関係者及び県歯会員

●内容

身体の成長発育、口腔に関わる機能発達が著しい乳幼児期に、歯科医療機関で指導を受ける事は、生涯にわたり豊かな食生活を送るための基礎となります。

歯が萌出していなくとも、正しい顎位で支える体幹育成や、離乳食指導などを通した口腔機能育成、乳幼児期における口腔の発育と食育をテーマに研修会を開催しました。

●活動の成果、今後の課題

6月16日の研修会については、277名の出席者があり、サテライト会場が用意されました。会場では乳児期からの口腔機能の育成のために、歯科医療従事者が持つべき知識の研鑽が行われました。

今後は、この時期からの歯科医院受診の重要性を県民に浸透させていく活動が課題です。



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：地域〉

メタバイキング

知立市

●実施時期：平成28年11月24日、25日

●対象者：平成28年度特定保健指導対象者及びその家族、特定保健指導非対象者であっても、メタボ判定において基準該当と判定された者

●内容

講座前に計測（血圧、体重、腹囲測定）を行い、参加者にバイキング形式で料理を選んでいただきました。

その後、管理栄養士より個別指導を行い、実際に試食してもらいました。

●活動の成果、今後の課題

アンケート調査において、「食生活などの生活習慣を改善しなければならないと思うが実行できていない」と答えた方で「講座で学んだことを実践したい」と回答された方が多かったので、行動変容にもつながったと感じました。

今後は、リピーターの方だけでなく、新規の方に多く参加してもらえるよう、周知方法も検討する必要があると感じています。



〈取組項目：職場での健康診断等に基づく食生活改善の更なる推進〉

〈取組場面：地域〉

若年女性「やせ」に対するソーシャルマーケティングに関する研究

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：通年

●対象者：①20歳～45歳 ②BMI20.0未満の社会人女性60名

●内容

若年女性の「やせ」(BMI18.5未満)は肥満対策と同様に喫緊の課題であるため、事前調査をもとに生活習慣改善プログラムの開発をし、行動変容・身体への効果を検証することを目的に、現在、介入研究を実施しています。

1か月毎にエアロビクスなどの運動実技とあわせ、筋肉量向上、貧血・骨粗鬆症予防に必要なエネルギー及び主食・主菜の量、不足がちな鉄・カルシウム量がわかるよう、調理実習による食事体験(下段写真)にて情報提供を行っています。



●活動の成果、今後の課題

参加者26名に課題改善に向けた行動目標を設定し、家庭での実践を行ってもらった結果、食事目標の達成率は約6割でした。3か月後の中間で、BMIは $17.8 \pm 1.1 \rightarrow 18.2 \pm 1.2 \text{ kg/m}^2$ 、筋肉量は $34.8 \pm 2.9 \rightarrow 35.3 \pm 3.2 \text{ kg}$ と有意に増加していました。

今後も一人一人に目を向けた支援を引き続き行っていく予定です。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

3 食の安全に関する信頼の構築

現地見学型リスクコミュニケーション

愛知県生活衛生課、厚生労働省東海北陸厚生局
三井食品工業株式会社（1回目）、株式会社おとうふ工房いしかわ（2回目）

●実施時期：【1回目】平成28年8月2日【2回目】8月15日

●対象者：【1回目】県内在住の親子9組26名【2回目】9組29名

●内容

生活衛生課では、食の安全に関する正しい知識を深めてもらうため、県内の製造工場に御協力いただき、親子参加型の工場見学を実施しています。

今年は、漬物と豆腐の製造工程を見学し、安全な食品を製造するための取組について学習しました。

また、食品の衛生管理の手法である HACCP についても学ぶとともに、手洗いの方法について体験しました。体験では、実際に手を洗い、洗い残しの有無について手洗いチェッカーを用いて確認しました。

●活動の成果、今後の課題

実際に製造現場を見学し、豆腐作りを体験することで、食に対する知識や理解を深めることができました。

HACCP については難しかったものの、クイズに積極的に参加する子どもたちの姿が見られました。また、手洗い後のチェックを実際体験し、楽しく学ぶことができました。



〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：地域〉



食物アレルギーのことを知ろう

愛知県小中学校長会（豊川市立中部小学校）

●実施時期：平成 28 年 9 月

●対象者：1 年生の児童

●内容

1 年生に魚アレルギーの児童が在籍しており、別室（職員室等）で弁当を食べる生活から、学級で会食する生活に児童が適応できるようにするため、学年全体で学習を実施しました。

食物アレルギーの子の体験を元にして描かれた「よみきかせえほん『ピーナッツアレルギーのさやちゃん』」（ポプラ社）の著者である栗田洋子さんを講師に迎えて授業を行いました。

御自身の子どもの体験を、絵本とお話でわかりやすく説明してもらい、アレルギーの子の気持ちや、「いのちをまもるほうほう」について子どもたちに知ってもらいました。その後の授業では、実際にアレルギーの友達のためにできることを話し合い、学級のルールを決めたり、給食時の行動を確認したりしました。



●活動の成果、今後の課題

食物アレルギーの学習を通して、「いのちをまもる」というねらいにも迫ることができました。専門の講師を招いて学習したことで、児童のみならず、保護者や職員も理解を深めることができ、有効であったと思います。

〈取組項目：学校給食等における食物アレルギーへの対応〉

〈取組場面：学校〉

福祉医療公開講座「薬剤師がはなす食育の話」

一般社団法人愛知県薬剤師会

●実施時期：平成 28 年 11 月 3 日

●対象者：県民

●内容

栄養のバランスとは別の角度から、食材の作用（例えば、温める作用・冷やす作用・潤す作用・乾かす作用など）を、郷土料理の食材を例に分りやすく解説しました。

郷土料理の中に込められた先人の知恵を知ってもらう事で、より郷土料理に親しみを感じてもらえるようにしました。

また、食品添加物などへの理解を深め、正しく付き合う考え方を啓発することも心がけました。

●活動の成果、今後の課題

今まで、県民向けに講演を続けてきましたが、まだまだ、積極的に食育に取り組む薬剤師が少ないので、講座とあわせて会員に向けた呼びかけが必要と思われます。



〈取組項目：食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発〉

〈取組場面：地域〉

大学教授による家庭科の授業

愛知県小中学校長会（名古屋市立牧の池中学校）

●実施時期：平成 28 年 6 月 19 日

●対象者：2 年生の生徒

●内容

牧の池中学校は、平成 25 年度から 3 年間名古屋市の「消費者教育モデル校」に指定され、今年度は名古屋市市民経済局消費流通課とタイアップして様々な取組を行いました。

その一環として、至学館大学教授の小塚諭先生を講師に迎え、家庭教育セミナーを行いました。

セミナーでは遺伝子組み換えによって病害虫に強い品種ができたことで農薬を使う量が減ったことや、天然の着色料にも発がん性があるものがあり、人工の着色料を使った方が安全な場合もあることなど、生徒は遺伝子組み換え植物や添加物の必要性和体への影響などについての正しい知識を学びました。

また、7 月 6 日には同じく小塚諭先生が、2 年生 4 クラスの家庭科の授業を行いました。食品の賞味期限や消費期限の意味と見方について学んだ他、炭酸飲料水に含まれる砂糖類の量と種類を調べ、実際に炭酸ジュースを作ってみるなどして、消費者として知っておきたい知識を身に付けました。



●活動の成果、今後の課題

香料や染料など、食品に含まれているにもかかわらず、単体では目にすることがない食品添加物を使った実験は、生徒の興味関心を大いに高めました。

この実践を通して、食品添加物に関する正しい知識を得たことで、正しく食品を選ぶという消費者として最も大切な感覚を身に付けさせることができたのではないかと思います。

〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：学校〉





食を通じて豊かな心を育むために

家族や友人と楽しみながら食事をとることや、様々な農作業体験、調理実習といった体験や交流を通じて、豊かな人間性の育成と食の理解促進を図るとともに、地域に伝わる郷土料理、食事作法等を継承するための取組を行いました。

1 食を楽しむゆとりの確保

好き嫌いをなく食べ、残食を減らそう

愛知県小中学校長会（岡崎市立上地小学校）

●実施時期：平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月 ●対象者：全学年の児童

●内容

抜き打ちで給食委員の担当の子どもたちが、食缶の残食計量を 5 日間行い、その合計の記録を取る活動をしました。

その後、給食委員が集会で各学級の残食の状況を発表し、給食センターでの作業工程やセンターの方の思いをまとめたビデオを放映して、「好き嫌いをなくみんながもう少しずつ食べよう」と全校児童に働きかけました。

その後は、集会や学級に出向いて、働きかけによって意識が変化したのかを把握するために、5 日間の残食調査を行い、前向きに残食を減らそうと意識付けできた学級に、その内容に合った賞を作り表彰しました。

●活動の成果、今後の課題

通常、目にすることのないセンターでの作業の様子や給食に関わる人たちの思いを知ることで、「残さず食べよう」「好き嫌いをなく食べよう」という意識が広まり、残食を減らすことができました。

また、給食委員の子どもたちが全校児童に働きかけたことにより、自分達自身の問題であると意識付けられたように思います。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：学校〉

誕生児お祝い会食

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（犬山市立犬山幼稚園）

●実施時期：通年（月1回）

●対象者：園児とその保護者

●内容

毎月の誕生会では、誕生児の保護者を招待してお祝いした後、遊戯室で園長とパート職員が配膳などのおもてなしをして、会食をしています。また、誕生会当日の献立は、行事食として、市の栄養士と調理担当で検討し調理しています。



昨年度までは、調理担当者の説明はしていませんでしたが、幼児食に適した食生活の見直しをして欲しいと願い、今年度より食事の前に調理担当者から、幼児食に適したメニューや調理のポイント等の説明をするようになりました。



●活動の成果、今後の課題

保護者が、実際に食したり、調理担当者から幼児食に適したメニューや調理方法等について話を聞いたりすることで、家庭での食について見直してみようとするきっかけづくりとなっています。

〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

子育てカレッジ「大人のためのしょくまるファイブ～食育ってなあに？～」

刈谷市

●実施時期：平成28年6月9日

●対象者：市内在住、在勤、在学の子育て中の女性

●内容

食事バランスガイドで5色に分けられた、料理の仲間を代表するキャラクター「しょくまるファイブ」を媒体に、学校における食育推進の状況や食育の大切さを学ぶための講座です。



●活動の成果、今後の課題

「食育の大切さやバランスよく食事をとることの大切さを学んだ、食育を身近に感じられた。」「学んだことを生かしてなるべくバランスのいい食事を出せるようにしたい。」などの声が、アンケート結果にあり、食育の推進に効果があったと考えています。



〈取組項目：家族や友人と食事をとるための環境整備〉

〈取組場面：地域〉

第7回こども食育発表会

高浜市こども食育推進協議会

●実施時期：平成29年2月16日

●対象者：小学生、市民

●内容

10年間高浜市内で料理講座やおやつ提供等の食育活動をしてきた「おやつ会」の活動事例発表を行った後、小学生と大人と一緒に「一番楽しかった食事」や「家族で楽しく食べるためにどうしたらよいか」について考えながら意見交換をしました。

最後に小学生が代表して、「皆で今日あったことやご飯の話しながら食べる」、「テレビをつけないで、会話を大切にする」などのグループで出した意見を発表しました。

●活動の成果、今後の課題

発表会は7回目ですが、今回初めて小学生に参加していただきました。

温かい雰囲気の中で、親子と一緒に食べることで、子どもと話をすることの大切さを大人も子どもも再認識できました。今後も各所と連携しながらこども食育を推進していきたいと思えます。



〈取組項目：家族や友人と食事をとるための環境整備〉

〈取組場面：地域〉

2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

「おもてなしレシピグランプリ」の開催

豊川市

●実施時期：平成29年3月4日

●対象者：市内在住又は在勤者

●内容

「第2次豊川市食育推進計画」に基づく、「調理の機会の充実」と「地産地消の推進」及び「豊川農産物の認知・消費の拡大」を図ることを目的として、豊川産農産物を使用したアイデア料理のレシピコンテストを開催しました。市の食育関係部局で組織する審査会で、レシピに関わる一次審査を実施し、上位6人の方に実際に調理していただいて、試食審査を二次審査で行い、最優秀賞等の賞を決定しました。

●活動の成果、今後の課題

審査結果及びレシピをホームページ上で公開し、豊川産農産物を使用したアイデア料理を市民の皆さんに知っていただくことで、豊川産農産物の認知・消費の拡大の向上に向けて周知を図ることができました。

今後の課題として、応募点数が少なかったため、事業内容の見直し等を含め、募集方法の精査が必要だと考えます。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

親子手作りうどん教室

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（知多市東部幼稚園）

●実施時期：平成 29 年 1 月

●対象者：年長の親子 29 組

●内容

知多市立東部幼稚園では、親子手作りうどん教室を開催し、小麦粉・塩・水を使いうどんを手作りする調理体験を取り入れています。

チーム麺・メンの方の指導のもと、“つくる喜び、食べる幸せ”と題して、親子で麺をこねたり、麺棒で伸ばして切ったりしました。お手伝いの PTA の方にその場で麺を茹でてもらい、茹でたてのうどんが上ると、子どもたちから歓声があがりました。

親子で協力して作ったうどんをおいしく食べる貴重な機会となりました。

●活動の成果、今後の課題

うどんを初めて作る親子が多く、「簡単な材料でできたので、家でも作ってみたい」「伸ばしたり、切ったりといろいろなことを知ることができた」等の感想が出るなど、調理体験が広がる楽しい経験となりました。

小麦アレルギーの子どもがいる場合の対応、お手伝いの方の人数確保が今後の課題です。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

飛島村おやこの食育教室

飛島村健康づくり食生活改善協議会

●実施時期：平成 28 年 11 月 17 日

●対象者：保育所年少児の親子

●内容

保育所で開催されるむし歯予防教室終了後に、食育 5 つの力「食べ物の味がわかる力」「食べ物のいのちを感じる力」「食べ物を選ぶ力」「料理ができる力」「元気なからだがわかる力」をテーマに教室を行いました。

朝ごはんの大切さについての手作りの紙芝居、だし汁の種類の説明及び試飲、味噌汁の味噌溶き体験などを行いました。

●活動の成果、今後の課題

味噌汁の味噌溶き体験、試飲は好評で、野菜が苦手な子も進んで食べている様子が見られました。

今後も、保育所と連携した取組を進めていきたいと考えています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼、地域〉

親子食育体験教室

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成28年10月29日、12月3日 ●対象者：県内の小学生親子

●内容

小学生の親子と一緒に農業体験や食品加工体験などを行うことにより、地産地消や「食」への意識を高め、健康な食生活の実現と健全な心身の成長および豊かな人間性を育むことを目的に実施しました。

10月29日に愛西市でれんこん掘りとれんこんの調理実習を18組36名の親子で実施しました。また、今年度からの新たな取組として、12月3日に豊田市にて三河豚を使用したウインナー作りと岡崎市の八丁味噌の工場見学を開催し、こちらは15組30名の親子が参加しました。

●活動の成果、今後の課題

参加した小学生の親子は、農業体験や地場産物の生産・製造現場での体験を通して、生産者への感謝の心を育むとともに、地産地消や地域独自の食文化に関心を持つことができました。また、親子で参加することで家族愛も深まり、貴重な体験となりました。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

幸田町親子農業体験教室

幸田町

●実施時期：平成28年5月7日～11月26日の計5回 ●対象者：小学生以下の親子8組22名

●内容

幸田町の特産物である筆柿の栽培、収穫、加工体験をとおして筆柿についての理解を深めるとともに、農業に親しむことを目的として活動しています。

内容は第1回：筆柿の名札作り、設置、柿の葉茶作り 第2回：筆柿の摘果作業、柿渋染め体験 第3回：筆柿の収穫体験、甘渋判定体験 第4回 筆柿を使った料理教室 第5回：筆柿を使った干し柿体験でした。

●活動の成果、今後の課題

新規事業でしたが、多数の参加がありました。教室後のアンケートでは、筆柿が好きになったなど、筆柿に対して愛着が持てたという意見が多数ありました。

農業体験は難しい作業もあることから、今後は、より参加者が取り組みやすくかつ楽しい内容を検討したいと思います。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

親子お魚教室

知多市健康づくり食生活改善協議会、株式会社昭和、
知多市、愛知県知多農林水産事務所（支援）

●実施時期：平成 28 年 11 月 26 日 ●対象者：市内在住の小学 1 年生から 6 年生の親子

●内容

魚への興味を持ってもらい、魚食の普及と地産地消の推進を図るため、市内小学校にて料理教室を開催しました。

愛知県で獲れる魚として「イワシ」をテーマに、前半の教室では「お魚クイズ」でイワシの生態等を楽しく学び、ちりめんに入ったタコやイカなどの異生物探しを行った後、イワシの手開きに挑戦しました。

後半の教室では、自分で手開きしたイワシと知多市特産品を使い、「梅じゃこごはん」「イワシの衣揚げ」等、4 品を親子で協力して完成させました。



●活動の成果、今後の課題

参加者 16 組（39 名）のうち 94%の方が「教室の内容がよかった」と回答され、普段は魚を食べない子が魚を完食するなど、魚に興味を持ってもらうきっかけになりました。

今回は参加者を集めるのに時間がかかってしまったため、教室開催の周知が今後の課題です。

〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

こどものための愛情弁当コンテスト

一般社団法人愛知県調理師会

●実施時期：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日

●対象者：県内高校・短大・調理師専門学校生

●内容

日本調理師会が主催する「全国こどものための愛情弁当コンテスト」の一環で、幼児～小学生のこどもに食べさせたいお弁当として、原価 300 円まで地産品を取り入れ、見て楽しい、食育上元気になれるお弁当作品を募集しました。合わせて、これらの作品を審査し、優秀作品を表彰しました。

●活動の成果、今後の課題

本年は 203 作品が出品され、7 名が優秀作品として推進されました。

今後は募集の範囲を広げていきたいと考えています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域〉

食育料理講習会

公益社団法人愛知県栄養士会

●実施時期：平成28年8月9日

●対象者：県内小学生とその保護者

●内容

愛知県栄養士会では、毎年、食育親子料理教室を開催しています。

この講習会は、愛知県学校給食総合センターを会場に、「食育講話」と「料理教室」を手だてとして、小学生とその保護者に対し成長期の栄養について理解を深めるために行っています。

今年度は「野菜たっぷり朝ごはん」と題した講習会に、21名10組の県内小学生とその保護者の参加がありました。

また、協力していただいた学校給食会では、学校給食の物資を扱うほかに、物資の保管から検査までを担っていることから、物資を保管する倉庫の見学等を行うことで参加者に広く食に関心をもってほしいと考え、講習会とあわせて学校給食に関する施設の見学も行いました。



●活動の成果、今後の課題

食育講話では、朝ごはんの大切さや愛知県の野菜摂取率が低いことの影響、野菜をとることの必要性についてなどの話があり、熱心に聞き入る参加者の様子うかがえました。



また、料理教室では、参加した児童の感想で、「家族に作ってあげたい。」や、保護者からの感想で、「家でほとんど口を付けない野菜を、料理実習では食べていたので感動した。」などがあり、大変有意義な講習会になりました。

〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉



親子で楽しく海苔すき体験

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（名古屋市立神の倉幼稚園）

●実施時期：平成 29 年 2 月 28 日

●対象者：5 歳児とその保護者

●内容

身近な食材である海苔について、話を聞いたり海苔すきを体験したりすることで関心を深め、豊かな食生活につなげます。

海苔のクイズに答えたり、親子で海苔すき体験をしたりしました。

体験後は、親子で海苔にごはんとおかずをのせて、海苔ごはん会食を行いました。ミネラルやビタミンなどの豊富な栄養があり、日本で古くから食されている海苔の良さを知る機会になりました。



●活動の成果、今後の課題

5 歳児全員の親子が参加し、海苔について楽しく学ぶ機会になりました。実際に海苔すきを体験したり、専門家からクイズ形式で興味もてるような知識を教えてもらったりしたことで、自然の恵みに対する関心につながりました。

今後も、実体験を取り入れた食育の活動を大切にしていきたいと思えます。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

清須市食育まつり

清須市

●実施時期：平成 28 年 11 月 19 日

●対象者：市民

●内容

食の大切さを学び、食文化の理解を深め、自然の恵みへの感謝の心をはぐくみ、「食育」への関心を喚起するために、市民一人ひとりの食を通じた健康で豊かな生活の実践を啓発しています。

今年度は、市内食育関係団体による食育に関する取組についてのブース展示や、地元野菜を使用した豚汁やカレーの試食、大学教授による食育に関する講演などを実施しました。

●活動の成果、今後の課題

市内外から約 2,000 名の方に来場していただき、市内食育活動団体と連携することで、幅広く食育とはなにかということ伝えることができました。

今後も、市内に食育を広く知ってもらう機会を設けていきたいと思えます。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

郷土料理レシピ集『あいちの郷土料理レシピ 50 選』の作成・配布

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 28 年 7 月～29 年 3 月

●対象者：愛知県食育推進ボランティア、市町村、観光協会、小中学校

●内容

平成 25 年 12 月に、「和食：日本の伝統的な食文化」がユネスコの世界無形文化遺産に登録されたため、和食の基礎となる各地域で継承された伝統的な食文化の保護、継承がますます重要になってきています。また、愛知県に伝わる郷土料理の食文化は、自然環境との関わりの中で長い間に培われてきたかけがえのない財産であるため、その理解を促進し次世代に継承していく必要があります。

そこで、県内各地域の郷土料理、行事食等を愛知県食育推進ボランティア等にアンケート調査し、専門家で構成する「あいち郷土料理検討委員会（以下、「検討委員会」という。）」において、郷土料理 50 種を選定した「あいち郷土料理レシピ 50 選」（以下、「レシピ 50 選」という。）を 5,000 部作成しました。また、「レシピ 50 選」を食育推進ボランティア、農村輝きネット・あいち会員、市町村、観光協会、小中学校、図書館等に配付するとともに、多くの方に見ていただけるよう食育消費流通課の Web サイト「食育ネットあいち」へ掲載しました。

内容は、調理師を目指す学生の協力のもと、郷土料理伝承者等にレシピや料理にまつわる話『私の思い出』を取材して掲載しました。

また、検討委員会の監修により、各料理のいわれや歴史等を『料理履歴書』として整理したほか、カロリーや塩分も表記しました。この他、世代を超えて郷土料理の魅力を伝えることの大切さを語り合った『座談会』の内容や行事食、食文化を支える県の農林水産物や調味料も紹介しています。

●活動の成果、今後の課題

29 年度は、食育推進のリーダーである愛知県食育推進ボランティアを対象に「レシピ 50 選」を活用した料理講習会を開催し、次世代へ食文化伝承を図るとともに、一般県民を対象とした食文化の理解促進のためのシンポジウムを行います。

また、市町村や観光協会がレシピ 50 選を活用することにより、都市と農村の交流促進、地域振興につなげていきます。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

愛知を食べる学校給食の日

愛知県教育委員会健康学習室

●実施時期：平成 28 年 6 月 19 日、秋、平成 29 年 1 月 24 日頃 ●対象者：給食のある学校

●内容

県では、学校給食に地場産物を使用し、地域に伝わる食文化や食の加工技術に触れることによって、児童生徒・保護者等が地域や地域の産物を理解してもらい、より豊かな食生活を営もうとする意欲を高めること、及び「あいち食育いきいきプラン 2020」の目標である「学校給食における全食品数に占める県産食品数の割合 45%以上」の達成をねらいとして、平成 19 年度から「愛知を食べる学校給食の日」を実施しています。

この日は、普段より多くの地場産物を使用した献立（下段写真）を提供するとともに、地場産物や地域に伝わる郷土料理・郷土の食文化等を紹介する集会、校内放送、啓発資料作成などを行いました。



●活動の成果、今後の課題

「学校給食における全食品数に占める県産食品数の割合」は、「愛知を食べる学校給食の日」を年に 3 回実施したことなどから、平成 26・27 年度は 40%を越えましたが、平成 28 年度は野菜の高騰が原因で 40%を下回ってしまいました。

その一方で、プランにおけるもう一つの目標である「年間に使用した県産食品の種類」は 57 種類と目標の 60 種類に後一步まで迫っています。

平成 29 年度以降は、地域の産物を学校給食に活用した食に関する指導が、どのように児童生徒の地域の理解につながるのかを検証しながら、数値目標だけでなく、「より豊かな食生活を営む」という取組本来のねらいに迫るような活動を行っていきます。



〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校、地域〉

学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討

学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議
(委員：瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会、あいち尾東農業協同組合、
瀬戸総合卸売市場、道の駅瀬戸しなの、農業者、有識者、瀬戸市教育委員会など)

●実施時期：通年

●対象者：市民

●内容

瀬戸市の農産物を学校給食等に活用するための生産・供給システムなどの方法を確立するため、農家、民間企業、有識者等により、検討を進め、これにより、学校給食等への地場食材の活用を促し、瀬戸市の農業の発展に資することが本会の目的です。

●活動の成果、今後の課題

平成 28 年度は、検討会議を 3 回開催しました。

学校給食を意識したメニュー開発会議を瀬戸市食生活改善協議会に委託し、当会議の委員のほか、学校、保育園給食担当、健康推進担当を招き、開催しました。

また、学校および保育園給食に、初めて瀬戸市産のお米（ミネアサヒ、あいちのかおり）を提供すると共に、事前 PR、生産者との会食会を開催しました。

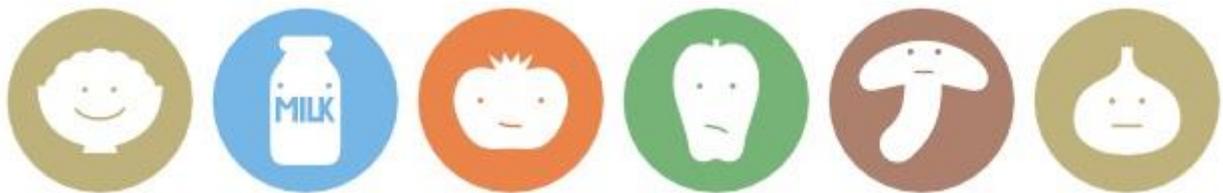
今後の課題

- ・提案されたメニューの学校給食への積極的な活用
- ・地元産のお米を安定的に供給するためのシステムの構築
- ・学校給食への提供を意識した、お米始め、その他野菜などの生産力の強化



〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉



郷土料理講習会

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成 28 年 8 月 25 日

●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

●内容

地域の味として古くから守り食されてきた郷土料理は、学校給食を通じて次世代を担う子どもたちに伝えたい食文化です。

栄養教諭・学校栄養職員の方々に伝統的な郷土の食文化に触れる機会を提供し、児童生徒の健全な食習慣の形成に資することを目的に、料理講習会を実施しました。

参加人数は 28 名で、愛知の郷土料理のもろこ寿司などを含む全国の郷土料理の調理実習と「日本の食文化」をテーマに講義を行いました。

●活動の成果、今後の課題

愛知の郷土料理「もろこ寿司」をはじめ他県の郷土料理も調理実習でき、勉強になったようでした。

また、講義を通して、和食、日本食のルーツなどを今後伝承していく大切さを改めて実感するとともに、食文化について十分な知識をもっていなかったため、大変勉強になりました、との感想をいただきました。



〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

親子で体験おこしものづくり

～おこしものでしょくまるファイブを作ってみよう～

刈谷市

●実施時期：平成 29 年 2 月 26 日

●対象者：市内在住の小学生とその保護者（32 人）

●内容

西三河や名古屋地方に古くから伝わる郷土菓子である「おこしもの」づくりを行いました。教室で使用した米粉の生産者である、米農家のご夫婦にも参加していただき、米作りの苦労や米の加工方法などをお話いただきました。

おこしものの型は、鯛や海老、桃や富士山などのほか、平成 23 年度に刈谷市立雁が音中学校の生徒有志が彫って作成をした、しょくまるファイブを模った型も使用し、可愛らしいおこしものをつくりました。

●活動の成果、今後の課題

親子で一緒に郷土料理をつくっていただくことで、親子のふれあいの活性化、伝統料理の伝承に繋がったと思います。

また、生産者と生の声を聴く機会をつくり、稲が米粉になるまでの過程を伝えたことで、農への興味関心を高めることができたと思います。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

食育指導(三色食品群、箸の持ち方、マナーについて)

大口町立北保育園

●実施時期：平成 28 年 12 月～平成 29 年 2 月 ●対象者：町内 3 園保育園 3 歳以上児

●内容

年長児は食べ物の働きを知り、うんちの形や色で自分の健康状態が分かるよう理解を深めました。また、マイ箸を使用し箸の持ち方、食事のマナーを確認しました。

年中児は、親子でマイ箸を作り、自分の作った箸を大切に使うことを覚えました。その後、マイ箸を使い正しい箸の持ち方、食事のマナーを学びました。

年少児は、色々な野菜に興味を持ち、野菜について理解を深めました。また、緑色の食べ物の働きについて、学びました。



●活動の成果、今後の課題

三色食品群については、前年度までの取組もあり、理解している子が多く、野菜を食べる必要性も理解している様子でした。

箸の持ち方については、食育指導をきっかけに改めて見直す良いきっかけとなったと思います。しかし、箸の持ち方やマナーについては、保育園だけでは習得は難しいところもある為、家庭との連携も必要だと感じました。

〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得〉

〈取組場面：保幼〉

守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習

扶桑町守口大根漬物組合、株式会社扶桑守口食品、扶桑町

●実施時期：平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月 ●対象者：町内の小学 3 年生から 5 年生の児童

●内容

扶桑町に対する愛着や誇りを育むことを目的とし、地産地消や食育を含め、扶桑町の特産品である守口大根について、守口大根漬物組合（生産者）と株式会社扶桑守口食品（加工業者）の協力を得て、実際に種まきから収穫、二度の粕漬けの漬け替え、仕上げ漬けを経て、製品になるまでの 3 年間で体験しながら学びます。



●活動の成果、今後の課題

平成 22 年度からの本事業を通じ、扶桑町の特産品である守口大根が家庭でも話題にのぼり、より身近なものとなっていると感じます。

〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

食べて元気に～白しょうゆ博士から学ぼう～

愛知県小中学校長会（碧南市立西端小学校）

●実施時期：平成 28 年 9 月

●対象者：5 年生の児童

●内容

① 白しょうゆについて白しょうゆ博士から学ぼう

白しょうゆの原材料などの実物を示しながら、白しょうゆについての基礎知識を学びました。

② 白しょうゆを使った料理についてプロの料理人から学ぼう

白しょうゆを使った料理（高野豆腐の含め煮・だし巻き卵）の実演・試食を行いました。

〈児童の感想〉

「白しょうゆについて初めていろいろ知りました。白しょうゆで作った煮物や卵焼きはとてもおいしくて、普段は嫌いで食べない椎茸や高野豆腐も全部食べることができました。」

「碧南に白しょうゆのような素晴らしいものがあるのを知り、とてもうれしくなりました。」



●活動の成果、今後の課題

白しょうゆは碧南が発祥の地と言われています。しかし、児童にとってはなじみがあまりないのが現状です。

今回の実践では白しょうゆについて、実物を示しながらわかりやすく説明していただき、試食もあったことで、児童が興味をもって取り組むことができたと思います。

それとともに、地場産物である白しょうゆについての理解を深めることができたと感じています。

〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域・学校〉



愛知県茶会

愛知県園芸農産課

●実施時期：平成 28 年 10 月 8 日

●対象者：県内市長村長等

●内容

お茶の消費の拡大、お茶を活用した食育の推進及びお茶の文化の振興を図るため、「愛知県茶会」を開催しました。

大村知事が席主となり、武者小路千家官休庵名宣会の協力をいただき、愛知県公館のラウンジにおいて、226 名の参加者に立礼式であいちの抹茶（豊田市産）を振る舞いました。

茶席会場横では、県内の茶産地、県産茶の特長を紹介するパネルを展示したり、県産茶を使った商品を紹介したりして「あいちの茶」を PR しました。

●活動の成果、今後の課題

参加者には、お茶の伝統と文化に深く親しんでいただき、お茶の文化の浸透、振興が図られ、「あいちの茶」を知っていただく良い機会となりました。また、県内市長村長を始め、茶に関わりのある学校生徒等を招き、県産茶の知名度向上、本県茶産業の振興につながりました。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

食育総合展示会の開催「食育メッセ 2016」

岡崎市

●実施時期：平成 28 年 7 月 2 日、3 日

●対象者：市民

●内容

第 2 次岡崎市食育推進計画の最終年度にあたることから、その集大成として「市民と創る実践型イベント」をコンセプトに、岡崎中央総合公園において「食育メッセ 2016」を開催しました。そこで、岡崎市の食文化の紹介・体験等や、食育ミニステージ、企業・団体による展示・販売・体験等のブース、茂木健一郎氏による特別講演会、岡崎市や県内外のうまいものを販売し、食文化の保護・継承や日本型食生活等の普及啓発を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

113 の企業及び団体の出展と 158 人の運営ボランティアの協力により、2 日間で 46,000 人に来場していただきました。食育に関するアンケート調査では、参加者に多くの波及効果が確認されました。

市民・関係団体から開催要望が多く、定期的開催に向けて調整していくことが今後の課題です。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉



食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

「もったいない」の心を持って、食べ残しを減らしたり身近な地域でとれる農林水産物を積極的に活用する地産地消を進めるなど、食べ物の消費と生産の両面から、環境への配慮に取り組みました。

1 食生活における環境への配慮の徹底

りきまるくん、完食チャレンジ

愛知県小中学校長会（刈谷市立双葉小学校）

●実施時期：平成28年5月23日～6月3日 ●対象者：全学年の児童

●内容

給食委員会で、本校の残食の実態を伝えると、「高学年は残さず食べているのに、そんなに残っているの！」と委員の子どもたちから驚きの声があがりました。

その後、「低・中学年の残食を減らせるような企画を立てたい」という声上がり、子どもたちの気付きやアイデアを生かした企画を、実行委員を中心に立てました。企画の話し合いでは「残食チェックは1種類がいいと思う」「再チャレンジあるといいな、2週間の企画にしたい」「1日完食でも努力賞をあげたい」等の声が上がりました。

その結果、低・中学年を対象にした子どもたちのアイデアを盛り込んで、主食の残食チェックを週間連続して行うことになりました。チェックカードも、完食シールが5枚そろそろと、楽しい絵が完成するものを作りました。

残食チェックでは、委員が応援する気持ちで毎日担当クラスに点検に訪れ、完食シールを貼りました。日に日にクラスの雰囲気も高まり、委員が点検に来るのを楽しみにしていました。

取組の結果、2週目には、完食を達成したクラスが大幅に増えました。

●活動の成果、今後の課題

どのクラスにも残さず食べようと意識する雰囲気が生まれ、この実践が終わった後も「ご飯が残っているよ、食べられる人はいませんか」と声をかける子どもたちの姿が見られるようになり、実践の成果を感じました。

また、主食の残量が6.84%から5.48%と大幅に減少するなど、大きな成果がありました。さらに、このチャレンジの1か月後にも別の形で、完食チャレンジを行いました。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：学校〉

愛知県ユネスコスクール交流会

愛知県教育委員会生涯学習課

●実施時期：平成 28 年 10 月 29 日

●対象者：日頃から ESD 活動に取り組む小学校、中学校、高等学校、大学及び特別支援学校

●内容

愛知県のユネスコスクールの支援と ESD（持続可能な開発のための教育）活動の広がりをおねらいとして、交流会を開催しました。

県内ユネスコスクール加盟校から参加した 20 校は、地域性や学校の特色等を生かした、人や社会、自然環境とのつながりを大切にする ESD 活動を発表しました。

分科会では稲作体験の取組の、ポスターセッションやワークショップでは発酵食品を文化継承のきっかけにする取組の紹介等があり、食生活と環境との関わりを学ぶ機会となりました。

●活動の成果、今後の課題

参加者は、環境学習、生物多様性、防災学習、地域連携など、現代社会の様々な課題に対して交流を深めることができました。

今後も ESD の視点から、全ての児童生徒が、食生活と環境との関わりについて学んでいける交流会にしていきたいと考えています。



〈取組項目：子どもに対する環境学習の推進〉

〈取組場面：学校〉

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

愛知県、企業、環境配慮団体

●実施時期：平成 29 年 1 月 13 日～2 月 12 日

●対象者：県民

●内容

愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市と、企業及び各種環境配慮団体とが連携して、必要性を十分に考慮した上で、環境負荷の少ない商品の購入をする「グリーン購入」を消費者に向けて啓発するためのキャンペーンを実施し、身近な消費行動を通して持続可能な社会の構築に寄与することを目指しました。

●活動の成果、今後の課題

平成 28 年度は 4,642 店舗が参加して消費者に対して「グリーン購入」を PR しました。

平成 28 年度に実施したアンケートによると、「グリーン購入」について、「このキャンペーンで知った」と回答した方が約 4 割を占め、「グリーン購入」の認知度を高めるきっかけになったと思われます。



〈取組項目：環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践〉

〈取組場面：地域〉

2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

羽布ダム水源地域交流フェスタ

愛知県農地計画課

●実施時期：平成28年10月10日～23日 ●対象者：県民

●内容

平成28年10月10日（月・祝）から23日（日）に開催した『羽布ダム水源地域交流フェスタ（豊田市）』では、ウォーキング大会や羽布ダムの見学（操作室、堤体内部、小水力発電施設）、パネル展示等を行いました。約800の方が参加され、羽布ダムの役割や重要性について理解していただくことができました。

また、羽布ダム四季カードやPR動画の作成、水源地域の皆様方と連携して羽布ダムカレーの考案などを行いました。

●活動の成果、今後の課題

参加者に対するアンケートでは、80%以上の方が羽布ダムの役割や重要性について“理解した”と回答されました。

今後、羽布ダム四季カードの配布やPR動画の発信、地元との連携により考案した羽布ダムカレーの販売を行っていくことで、多くの方に水源地域へ足を運んでいただき、地域の活性化を図っていきたいと考えています。



〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉

〈取組場面：地域〉



「とよかわ農業市」の開催

豊川市

●実施時期：平成 28 年度（6 回開催）

●対象者：来園者

●内容

豊川市で生産される農作物や加工品の PR のため、赤塚山公園の駐車場の一部を会場として、生産者の直売によるトラック市を午前 9 時から 11 時までの 2 時間、開催しました。

開催時期によって 10 から 15 団体が出店し、各生産者は来場者に新鮮な豊川産農産物や加工品を対面で販売しました。

●活動の成果、今後の課題

開催日には多くの人々が来場し、豊川産農産物の PR の場を設けることができ、新規就農者の販路開拓の場にもなりました。

今後については、参画生産者の拡大・市民の認知度向上を進め事業のより一層の定着化を図り、いずれは生産者主体の運営にしていきたいと考えています。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

田んぼアート

あいち尾東農業協同組合、尾張旭市

●実施時期：通年

●対象者：市民他

●内容

尾張旭市では、農業を身近に感じてもらうこと、農地を保全することを目的として田んぼアートを実施しています。

平成 28 年 6 月 18 日にあいち尾東農業協同組合指導のもと、名古屋産業大学学生、尾張旭市職員等で田んぼアートの田植えを実施しました。

緑・黒・赤・白の 4 色の苗を使用し、「頑張る皆さんを応援」をテーマに、震災からの復興を目指す熊本県のキャラクター「くまモン」と尾張旭市イメージキャラクター「あさびー」のイラストを描きました。

●活動の成果、今後の課題

市民の方や新聞・ホームページをみた全国の方に興味を持っていただき、農地や農業の大切さを啓発することができました。

また田植え、稲刈り作業を通じて、食の大切さや楽しさを伝えることができました。



〔 ©2010 熊本県くまモン#K22939 〕

〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

安城マルシェinテンパーク～笑顔新発見！食と農から健幸へ～開催

安城市

●実施時期：平成 29 年 1 月 28、29 日 ●対象者：市民他

●内容

地産地消の推進による健康的な食生活の実現の契機とするとともに、食と農に対する関心を高め、本市の農業の振興を図ることを目的とし、食べて遊んで笑顔になれるイベント「安城マルシェ」を開催しました。

生産者による野菜の産直市や食育推進団体による焼き芋の販売や五平餅づくり体験、ピザ窯職人が焼く地元野菜を使った本格ピザなど、地元のおいしいものが新発見できるイベントとなりました。

●活動の成果、今後の課題

来場者が 2 日間で 1 万人を超え、さまざまな年代の方に地産地消の推進、食育の普及・啓発ができました。



〈取組項目：直売所における生産者と消費者の交流〉

〈取組場面：地域〉

JAあいち豊田稲作交流会 田植え、生きもの観察、稲刈り

生活協同組合コープあいち、あいち豊田農業協同組合

●実施時期：平成 28 年 5 月 22 日、7 月 10 日、10 月 2 日 ●対象者：県民、生協組合員

●内容

毎年、あいち豊田農業協同組合の豊田市高岡町の圃場で田植え、生きもの観察、稲刈りを行っています。農家の方の苦勞を知り、食べものの大切さを知る貴重な食育の機会となっています。また、生きもの観察会では、田んぼが生態系や環境に果たす大きな役割にも気づく機会ともなっています。

〈参加者の感想〉

「汗だくで初めて稲刈りをしました。」「お米を作るのがこんなに大変なんだなあ実感しました。」「これから、もっと感謝して食べたいなあと思います。」

●活動の成果、今後の課題

苗を植え、稲が育ち、観察し、稲を刈るプロセスに参加することで「ご飯が大好き」になります。また、田んぼが食料の生産だけでなく、多様な機能についても気付く良い機会になっています。



〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

プチヴェールの収穫交流会

生活協同組合コープあいち、あいち尾東農業協同組合

●実施時期：平成 29 年 1 月 28 日

●対象者：県民、生協組合員

●内容

あいち尾東農業協同組合の水稲育苗施設及び近くの圃場で、プチヴェール収穫体験交流会を開催しました。

収穫体験では株の本葉の中の茎に生えるわき芽（プチヴェール）を摘んでいきました。結構力が必要で大変ですが、農協の方や生産者の皆さんに教えてもらいながら懸命に穫っていきました。

子どもも大人も夢中になって収穫し、30 分くらいで圃場の 120 株はほぼ穫り尽くしました。

プチヴェールは生産者の皆さんが湯がいてカップに小分けし、用意した 20 種類のドレッシングを好みでかけて食べました。みんな美味しいと大好評でした。参加者は 176 名でした。

〈参加者の感想〉

「とてもいいイベントです。子どもに食の大切さを教えることができ、子どもの記憶にもきっと残るにちがいません。野菜嫌いの克服にもいいですね。」

●活動の成果、今後の課題

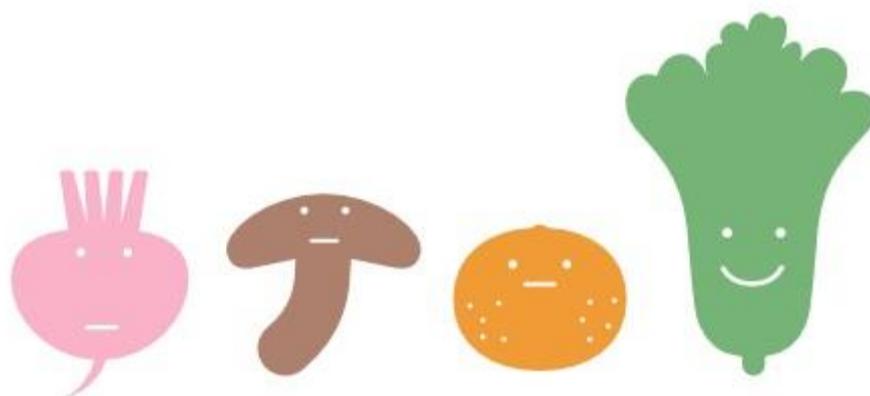
ケールと芽キャベツを掛け合わせた新野菜のプチヴェール、野菜嫌いの子どもがパクパク食べて親が驚く光景もありました。

収穫というプロセスに参加することが、「野菜大好き」につながるものが良くわかりました。



〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉

〈取組場面：地域〉



3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

エコフィードの利用を拡大するための研修会開催

東海地域飼料増産行動推進会議（事務局：東海農政局畜産課）

●実施時期：平成 28 年 11 月 16 日

●対象者：畜産農家、飼料製造業者等

●内容

エコフィードとは、食品製造副産物、余剰食品等を利用した飼料のことです。畜産経営では、飼料の大半を輸入に頼っていますが、エコフィードの利用は輸入飼料の代替や食品廃棄物を減量化する手法として期待されています。

平成 28 年 11 月にエコフィードの利用拡大を目的として、東海地域飼料増産行動推進会議研修会が開催され、畜産農家や飼料製造業者等 50 名近くが参加し、エコフィードの活用事例や製造現場の現状を学びました。



●活動の成果、今後の課題

愛知県は食料品製造業と畜産業が共に盛んであることから、エコフィードを活用しやすい地域と言えます。

しかし、腐敗し易いものや、塩分やアルコール分が高いものは、利用が十分には進んでいないため、エコフィードの利活用方法について、試験研究や普及啓発を続けていく必要があります。



〈取組項目：農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用〉

〈取組場面：地域〉

多量排出事業者における産業廃棄物処理計画書の作成

愛知県資源循環推進課

●実施時期：平成 28 年 6 月

●対象者：食品関連事業者

●内容

産業廃棄物の年間発生量 1,000t 以上の事業場を設置している事業者は、多量排出事業者として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画書を作成し、県知事等へ提出しなければならないとされています。

愛知県では産業廃棄物処理計画書の作成を指導し、事業者に廃棄物の排出抑制、再生利用、減量化に係る具体的な方法を検討させることで、食品廃棄物の削減を進めています。



●活動の成果、今後の課題

産業廃棄物処理計画書について約 25 件の食品関連事業者から提出があり、廃棄物の排出抑制、再生利用減量化に係る方法について検討していただきました。また、食品廃棄物はその約 99.2%において減量化及び資源化が行われており、廃棄物の削減が進んでいます。

〈取組項目：食品関連事業者における食品廃棄物等の削減〉

〈取組場面：地域〉



食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」、及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

愛知県食育推進ボランティアとして「ふれあい市場まつり 2016」に参加

岩倉市、岩倉市食生活改善推進員

●実施時期：平成 28 年 10 月 30 日

●対象者：市民、食育推進ボランティア

●内容

平成 26 年度に「愛知県食育推進ボランティア」に登録し、翌 27 年度には初めて名古屋市主催の「ふれあい市場まつり」に出展した県のブースで、ボランティアとして活動しました。

今回も引き続き、県の食育コーナーで「花当てクイズ」や「粉当てクイズ」が行われ、食育推進ボランティアが参加者の誘導やクイズの手伝いを行いました。

●活動の成果、今後の課題

普段は岩倉市内で栄養教室の開催や学習に携わっているところですが、今回のイベントでは、愛知県食育推進ボランティアの登録カードを名札に入れることによって、愛知県の食育推進に携わっているという意欲を高めることができました。

今後もこうした機会を体験することで、食育推進ボランティアが岩倉市の食育推進に取り組むための幅広い知識や、経験を積むきっかけになったら良いと思います。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 28 年 8 月～12 月

●対象者：愛知県食育推進ボランティア

●内容

県民の食育の実践を支援するため、食育の推進活動を自主的に行う愛知県食育推進ボランティア（以下「ボランティア」という。）の登録制度を設けて、ボランティアの資質向上を図っています。

今年度は、これまで県域で行ってきた研修会を切り替え、各農林水産事務所でボランティアと関係者が食育について学び、交流を図る「地域食育推進ボランティア研修交流会」を始めました。

●活動の成果、今後の課題

農林水産事務所毎に県下 7 か所で、地域の実情に合わせた食育についてのテーマを取り上げ、情報提供を行った他、ボランティア同士や関係者が交流する研修交流会を開催し、総計 231 名のボランティア及び関係者が参加しました。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

輝きネット・あいちの技人認定式及び研修会

農村輝きネット・あいち

●実施時期：平成 29 年 1 月 26 日

●対象者：農村輝きネット・あいち会員

●内容

平成 15 年度から、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち伝承できる会員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 28 年度は、14 回目となる認定式を愛知県西三河総合庁舎で開催し、新たに 10 名を認定しました。認定式後には、天龍村柚餅子生産者組合の関京子組合長を講師に招き、「柚餅子の出会いで、豊かな人生！」と題して、研修会を行いました。

●活動の成果、今後の課題

輝きネット・あいちの技人の認定者数は 252 名になり、地域住民や小・中学校の子どもたちに対して、地域の農業や伝統料理を教えるなど農業理解を深める地域活動をしています。

今後も技人の活躍を期待し、認定していきます。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

2 関係者の役割分担とネットワークの充実

西三河地域食育推進ボランティア研修交流会

公益社団法人愛知県栄養士会、生活協同組合コープあいち、
愛知県西三河農林水産事務所農政課

●実施時期：平成 28 年 12 月 13 日

●対象者：食育推進ボランティア他

●内容

平成 28 年 12 月 13 日（火）、西三河総合庁舎において、西三河地域の愛知県食育推進ボランティアら 74 名が出席して「食育推進ボランティア研修交流会」を開催しました。

講演では、栄養士会の広瀬輝美管理栄養士から、「災害時の食の備えについて」と題して、東日本大震災の被災現場を訪れた体験から、災害食のレシピの普及に努めていることが紹介され、切干大根とわかめとみかん缶を用いた災害時食の試食を行いました。

事例発表では、生活協同組合コープあいちから、「組合員活動を支援するしくみと愛知県食育推進ボランティア」と題して生協の食育活動が紹介され、発表の最後には会場の出席者と一緒に「しょくまる体操」を楽しみました。

その他、愛知県食育推進課（現：食育消費流通課）から「あいち食育いきいきプラン 2020 について」及び「食品ロス削減の普及啓発について」、農政課からは「食育推進ボランティアの活動について」及び「地産地消クイズ」、東海農政局からはメールマガジンの紹介等、盛りだくさんの内容になりました。

質疑応答でも、災害時食のレシピの普及などに関して、活発に意見交換が行われました。

●活動の成果、今後の課題

西三河地域の食育推進ボランティア同士が顔を合わせる機会は少なく、今回、一緒になって一同に会して参加することにより、連携のきっかけが生まれることを期待しています。

農政課主催のボランティア研修交流会は初めての試みでしたが、参加者の反応も良く、さらに内容を充実させていこうと考えています。

また、継続して取組を実施していくことが大切だと考えており、そのための手だてが今後の課題です。



〈取組項目： 活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面： 地域〉

食育講演会

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：平成 28 年 8 月 19 日

●対象者：県内勤務の栄養教諭、学校栄養職員、食育推進団体構成員

●内容

学校給食における地場産物活用率を、愛知の目標値に近づける手立てとして平成 19 年度から農業協同組合愛知中央会と連携を図ってきました。早い段階からの連携によって第 1 次、第 2 次の目標値を達成することができ、現在、第 3 次の目標値達成に向けて、生産・流通する側の 10 年間の取組を聞くことで、成果と課題を明らかにし、目標値達成に向けて取組をしています。



●活動の成果、今後の課題

生産者や農協の活動内容を聞くことで、各自実践している内容を振り返るきっかけにすることができました。今後更に推進すること、方向性を再度考慮すること等整理をし、愛知県が目指す数値目標達成を目指したいと思います。講演会の参加者は 420 名でした。



〈取組項目： 活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面： 地域〉

健康フェア(市民ふれ愛まつり)

岩倉市健康づくり推進協議会

●実施時期：平成 28 年 11 月 11 日、12 日

●対象者：市民

●内容

「私が主役！健康いわくら 21～からだにいいことはじめよう～」をテーマに、野菜摂取増加に向けた内容や、嗜好食品に含まれるエネルギー量と、これを消費する運動や時間について展示しました。野菜に親しむ体験コーナーとして「野菜当てクイズ・種当てクイズ」を、子ども用大人用に分けて行った他、地場産の「カリフラワー」「ちっちゃイ菜」を、商工農政課を通して生産者から分けて頂いて、展示をしました。

●活動の成果、今後の課題

野菜・種当てクイズでは、例年以上に子どもの参加がありました。家庭や学校等での教育の成果もあり、子どもの正解率は高く、野菜に親しみを持つ人が多かったと感じました。また、市との連携により、生産者の方から地場野菜を分けて頂いた他、実際に展示会場に生産者が見に来て下さり、ボランティアと生産者との顔が見える関係を築くことができました。

今後も生産者と関係を深め、地産地消の推進や食べ物や生産者、自然への感謝の気持ちを育み、食を通したコミュニケーションを深められることを目指したいと思います。



〈取組項目： 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有〉

〈取組場面： 地域〉

3 いいともあいち運動の推進

いいともあいち運動シンボルマークの愛称が「あいまる」に決定！

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 28 年 11 月から平成 29 年 2 月 ●対象者：一般

●内容

愛知県産農林水産物のイメージアップを図り、いいともあいち運動をより一層、幅広い年齢層の県民に親しみやすいものとするため、愛称を募集したところ、832 作品の応募があり、いいともあいち運動推進協議会の構成員による審査の結果、「あいまる」に決定しました。

「いいともあいち交流会」の会場において表彰式を行い、「あいまる」と応募した人の中から 1 名に、知事から賞状と副賞（名古屋コーチン鍋セット）を授与しました。

●活動の成果、今後の課題

県内の小学校や県外からも応募があり、いいともあいち運動を広く周知することができました。愛称に決まった「あいまる」は、愛知がイメージできる“あい”と、シンボルマークの形や丸ごと愛知という意味を“まる”で表現しており、とても親しみやすいことから選定しました。

今後は、この愛称をのぼりやポスター等の啓発資材に使用して、広く PR に活用していきます。



〈取組項目：運動の定着促進〉

〈取組場面：地域〉



いいともあいち交流会の開催

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 29 年 2 月

●対象者：県民

●内容

消費者と生産者、流通関係者等との交流により商品開発や販路開拓を図り、消費拡大につなげるため「いいともあいち交流会」を開催しました。

この交流会は、従来では農林漁業者と食品製造業者、流通業者を対象とした商談会のみを開催していましたが、消費者との交流を行い消費拡大に繋げるため、2 日間にわたって商談会+消費者向け即売会としました。

1 日目（平成 29 年 2 月 19 日）は 27 事業者が出展し、イオンモール大高で一般消費者を対象に商品 P R、展示販売、試食を行い、2 日目（2 月 20 日）は 26 事業者が JP タワー名古屋で事業者向けの商談会を行いました。

●活動の成果、今後の課題

1 日目のイオンモール大高には 5,880 名の一般来場者がありました。また、2 日目の商談会では出展 26 事業者に対し 26 名（県内 14 名、県外 12 名）のバイヤーを集め熱心な商談が行われました。

その結果、商談件数 276 件、うち取引交渉継続中は 40 件となっています。
(2 月末時点)



〈取組項目：協働活動の充実〉

〈取組場面：地域〉



Ⅲ 県や関係団体の取組一覧

「Ⅱ 平成 28 年度の主な取組の状況」で紹介した取組を含め、プランで位置付けた県や関係団体などが平成 28 年度に実施した取組については、次のとおりです。

 食を通じて健康な体をつくるために		
バランスのとれた規則正しい食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市	大型仕掛け紙芝居「コウくとバランスマン」	
	健食健口(けんしょくけんこう)教室	
愛知教育大学附属岡崎小学校	給食を通して「感謝の心」を育てる	
愛知県健康対策課	健康づくりチャレンジ推進事業「あいち健康チャレンジ」	3
愛知県小中学校長会(愛西市立開治小学校)	大豆の加工総合的な学習の時間	8
愛知県小中学校長会(稲沢市立坂田小学校)	教科等と関連させた栽培活動	
愛知県小中学校長会(尾張旭市立西中学校)	特別活動(学級活動)「朝食で野菜を食べよう」	
	元気アップカード	
愛知県小中学校長会(蒲郡市立形原中学校)	給食時の栄養士による説明「夏ばてをしない体をつくろう」	
愛知県小中学校長会(幸田町立幸田中学校)	PTA・給食試食会・給食センター栄養士による給食訪問	
愛知県小中学校長会(西尾市立寺津小学校)	米作り体験 受け継ごう! 渡辺さんの米作りへの思い	
愛知県小中学校長会(扶桑町立山名小学校)	栄養教諭による給食時訪問指導(2年)「野菜を知ろう」	
愛知県小中学校長会(豊明市立沓掛小学校)	食べ物の仲間を覚えよう 食べ物の働きを知ろう バランスよく食べよう	
愛知県小中学校長会(豊田市立井上小学校)	食に関する指導「好ききらいしないで食べよう」-食べ物の3つの働き-	
愛知県小中学校長会(豊根村立豊根中学校)	ようこそ先輩「道の駅豊根グリーンポート宮嶋編」	
愛知県小中学校長会(豊橋市立中野小学校)	総合的な学習の時間(社会科関連):戦争中の食事調べ	
愛知県小中学校長会(豊橋市立天伯小学校)	家庭科「やさいパワーを知ろう」	
愛知県小中学校長会(名古屋市立神宮寺小学校)	みんなで食べる!「なごや産」を知ろう	
愛知県小中学校長会(名古屋市立御田中学校)	給食委員会による生徒主体の食育活動	
	家庭科「食生活」の単元におけるスクールランチの献立を活用した食育指導	
愛知県小中学校長会(名古屋市立矢田小学校)	給食委員会による全校への啓蒙活動「給食をしっかりと食べよう」	
愛知県小中学校長会(みよし市立南中学校)	講師を招いての講話 食からつくる中学生の“こころ”と“体”の健康	
愛知県小中学校長会(弥富市立日の出小学校)	朝食レシピの作成・配布、苦手な野菜を使ったレシピの募集	
あいち食育サポート企業団	食育調理イベント	
	食育月間合同イベント	9
	いいともあいちフェア	
あま市小中学校	食育についての授業	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
安城市	「野菜や果物のパワーはすごい！！」チラシ作成・配布	
	旬の野菜を使ったレシピを市の公式ウェブサイトへ掲載	
安城市農畜産物特産品協議会	産学官連携事業 安城市の特産品を使ったレシピ開発と普及啓発	
岩倉市、食生活改善推進員	野菜料理プラス一品の取り組み	
岩倉市保健センター、岩倉市食生活改善推進員	まんずまんずクッキング	
	男性の料理教室	
	男子厨房に入ろう修了者との交流会	
	妊婦さんと赤ちゃん(0～3 か月)のお母さんの教室	
岩倉市立南部中学校、岩倉市食生活改善推進員、岩倉市	岩倉市南部中学校 カルチャー講座	
大口町 大口町立西保育園	楽しく食べる子ども ― 食育サポートさんとの栽培を通して ―	
大治町保健センター保健推進員	保健推進員栄養グループ主催料理教室 第1回「知っ〇得！血管を丈夫にするレシピ～おさかなすきやね～」 第2回「食物繊維をたっぷり摂って腸も脳も元気に」	
大府市	3歳児健診時集団指導	
尾張旭市	骨コツヘルスアップ教室	
	パパママ教室	
	めざめよ！あたま！脳活大作戦	
	離乳食教室	
尾張旭市、株式会社日本ゼネラルフード、 あいち尾東農業協同組合	健康ランチの提供	6
尾張旭市教育委員会、尾張旭市	「体も心もぽっかぽか家族でつくろう！朝ごはん」メニューを募集	
各小中学校 PTA	小中学校 PTA 指導者研修会	
春日井市教育委員会	土曜チャレンジ・アップ教室 ①暑い夏にぴったり♪ 冷やし中華風そうめんとひんやりデザートを作ろう！ ②牛乳パックでご飯が可愛く大変身♪ デコレーションご飯ととん汁を作ろう！	
春日井市	パクパク健康教室(【前期】【後期】)	
蟹江町	☆キラッとかにえ 健幸ポイントカード(小学生)	7
刈谷市	高齢者簡単クッキング	
刈谷市さくら保育園	給食が楽しみになる環境作り	
刈谷市中央子育て支援センター	食べ物と体のつながりをエプロンシアターで知らせる	
	手作りおやつレシピ紹介	
刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター	食育に関する子育て講座の開催	
刈谷市南部子育て支援センター	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
刈谷市教育委員会学校給食センター	家庭科授業「五大栄養素」	
	小学校2年生を対象とした給食訪問	
	「食生活に関するアンケート」の実施	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市立重原幼稚園	しよくまる食育活動	
刈谷市立双葉保育園	食育ボード、給食サンプル提示、給食レシピ紹介の設置	
	幼児期に必要な生活習慣について学ぶ	
金城学院大学、旭精機工業株式会社、株式会社日本ゼネラルフード、尾張旭市	ランチで健康プロジェクト「高血圧とむくみ予防 Week」	
公益財団法人愛知県学校給食会	学校給食教室	
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	愛知県内の小中学校でのこころとからだの健康教育	5
	健康カレッジ「サルコペニア予防教室」	9
社会福祉法人へきなん乳幼児福祉会 へきなん保育園	食育カリキュラム(稲作、野菜作り、ジャム作り)	
知多市健康づくり食生活改善協議会、知多市	食育の日啓発イベント	
知多市	野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」	
知立市、食育推進ボランティアグループ米太郎、生活協同組合コープあいち、愛知県西三河農林水産事務所農政課	第24回知立市福祉健康まつり食育コーナー	4
津島市	食育キャラクター「食まるファイブ」を使用した食育紙芝居とクイズ・寸劇	
	「今月のバランス献立」の広報誌・ホームページへの掲載及びちらし配架	
手をつなぐ育成会、知立市	育成会調理実習	
東郷町	学級訪問栄養指導(小学生)	
	学級訪問栄養指導(中学生)	
豊明市	グリーンフェスタにおけるとよあけヘルシーレシピ普及事業	
豊田市	食育キャラクター「たべまる」の園訪問	
豊橋市	社員食堂で豊橋野菜を食べよう WEEK	
豊山町保健センター	食育ひろば	
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業	
半田市内小中学校、半田市学校給食センター	食に関する指導	
半田市立白山保育園	給食試食会・味見当番・栽培・調理体験・視聴覚教材や実体験を通しての食への関心を深める	
飛鳥村立小中一貫教育校飛鳥小学校	飛鳥村の野菜作りの達人から様々な技を学ぼう	6
碧南市立かしの木保育園年長児ゆり組	年長組の野菜畑	
碧南市立築山保育園	新入園児の保護者に向けた給食試食会	
	節分の豆まき会で「鬼おやつ」	
	碧南人参の日	
碧南市立天道保育園	食育活動の保護者への啓発	5
碧南市立日進保育園	親子クッキング 簡単手巻き寿司	
碧南市立へきなん保育園、子育て支援センター	食育だより 食育新聞	
丸進青果株式会社、内堀醸造株式会社、生活協同組合コープあいち	ラブベジ・カフェ	10

生活習慣病や過度な痩身の予防		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県小中学校長会(愛西市立佐織西中学校)	授業 体の調子を整える食物繊維のとり方を考えよう	
愛知県小中学校長会(知多市立旭東小学校)	学級ごとに栄養教諭との TT 食生活を見直そう(おやつ脂質とカロリー)	
愛知県小中学校長会 (特別支援学校 愛知県立岡崎盲学校)	食べる機能を促す給食の提供(形態調整食の工夫)	
愛知県小中学校長会(名古屋市立二城小学校)	児童を対象とした個別栄養相談活動	
一般社団法人愛知県歯科医師会	0歳児からの口腔機能育成研修会	12
	第6回もつと噛んで歯ッピレーシピコンテスト	11
	平成28年度 愛知県歯科医師会 食育推進研修会	
稲沢市	いきいきいなざわ減塩教室	
岩倉市、岩倉市食生活改善推進員	岩倉市食生活改善推進員主催の栄養教室	
尾張旭市	あなたのためのちょいやせ道場	
刈谷市教育委員会学校給食センター	「生活習慣病の予防」を取り上げた授業の実施	
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	若年女性「やせ」に対するソーシャルマーケティングに関する研究	13
社会福祉法人へきなん乳幼児福祉会 へきなん保育園	歯について考える「よい子の歯磨き指導」等	
知立市	メタボバイキング	12
碧南市立築山保育園	食事を通しての指導・給食の展示	
	歯科衛生士より、歯の形と歯の役割を学ぶ	
食の安全に関する信頼の構築		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
あいち消費者協会(尾北、尾東支部)	中国食品の功罪	
愛知県食育消費流通課	食品表示110番の運営	
	研修会やパンフレット等による表示制度の理解促進	
愛知県小中学校長会(豊川市立中部小学校)	食物アレルギーのことを知ろう	15
愛知県小中学校長会(名古屋市立牧の池中学校)	大学教授による家庭科の授業	16
愛知県生活衛生課、 一般社団法人愛知県食品衛生協会	HACCP 導入基礎研修	
愛知県生活衛生課、厚生労働省東海北陸厚生局 三井食品工業株式会社(1回目)、 株式会社おとうふ工房いしかわ(2回目)	現地見学型リスクコミュニケーション	14
一般社団法人愛知県薬剤師会	福祉医療公開講座「薬剤師がはなす食育の話」	15
尾張旭市教育委員会給食センター	食育講演会	
尾張旭市教育委員会給食センター	給食センターの見学	
社会福祉法人へきなん乳幼児福祉会 へきなん保育園	保育園における除去食について	



食を通じて豊かな心を育むために

食を楽しむゆとりの確保

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市立保育園	給食「にこにこ汁(具だくさん味噌汁)」のお手伝い	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (犬山市立犬山幼稚園)	誕生児祝い会食	18
愛知県食生活改善推進員連絡協議会	おやこの食育教室等	
愛知県小中学校長会(岡崎市立上地小学校)	好き嫌いをなく食べ、残食を減らそう	17
愛知県西三河農林水産事務所農政課	食育の日 庁内放送	
岩倉市	「ふれあい給食会」	
刈谷市	子育てカレッジ「大人のためのしょくまるファイブ～食育ってなあに?～」	18
刈谷市立朝日幼稚園	おうちの人と一緒に給食をたべよう	
尾張旭市教育委員会給食センター	皆が食べられる学校給食の日	
	学校給食試食会&食育講演会	
小牧市	“おうちでごはんの日”の実践推進(パソコンポップアップ)	
社会福祉法人へきなん乳幼児福祉会 第2へきなん保育園	保育園で米、野菜を育てる	
社会福祉法人へきなん乳幼児福祉会 へきなん保育園	地産地消を心掛けた献立	
高浜市食育推進協議会	第7回こども食育発表会	19
連合愛知 社会政策局	連合 男女平等月間キャンペーン 街頭活動	

体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
NPO法人プレマクラブ のぞみが丘保育園	じゃがいも・さつまいもほり	
愛西市教育委員会	生涯学習講座 親子教室	
愛西市、あいち海部農業協同組合	トマト・加工用トマト収穫体験&ケチャップづくり体験教室	
愛西市食育推進専門部会	男子自立クッキング	
愛知県教育委員会健康学習室	あいちの味覚たっぶり! わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (阿久比町 ほくぶ幼稚園)	さつまいもを育てて、味わおう!	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (知多市 東部幼稚園)	親子手作りうどん教室	20
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (常滑幼稚園)	やきいもパーティー大作戦	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (豊田市立高橋こども園)	高年大学の方と連携して栽培、調理体験をし、食に対して興味をもつ	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (名古屋市立神の倉幼稚園)	親子で楽しく海苔すき体験	24
愛知県小中学校長会(安城市立桜井中学校)	授業 手作り豆腐を作ろう	
愛知県小中学校長会(大府市立共長小学校)	栄養教諭と担任による食の指導 まかせてね今日の食事	
愛知県小中学校長会(大府市立大府中学校)	「大府市の産物を取り入れた我が家の自慢料理を給食に!!!」	
愛知県小中学校長会(新城市立舟着小学校)	おやこ de バランス up 朝食作り	
愛知県小中学校長会(津島市立南小学校)	夏休み『おやこ料理教室』PTA 行事	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県小中学校長会(名古屋市立高田小学校)	これからの食料生産とわたしたち～愛知の最先端の農業～	
愛知県小中学校長会(名古屋市立日吉小学校)	給食のみみつをしよう	
愛知県立農業大学校	農業理解研修「県民公開講座」現地研修	
あいち消費者協会(東三河支部田原グループ)	にんじんの会	
あいち尾東農業協同組合(主催) 尾張旭市(共催)	食育講座 小学生によるいちじくジャム作り体験	
一般社団法人愛知県調理師会	こどものための愛情弁当コンテスト	22
大口町立南保育園と南地域食育サポートの方	南地域食育サポートの方との交流(カレーパーティー)	
尾張旭市	親子で元気まる	
尾張旭市教育委員会給食センター	親子料理教室	
	あったらいいなこんな給食	
尾張旭市立あたご保育園	地域ボランティアの協力を得ながら、さつまいもの栽培及び調理体験	
蒲郡市	蒲郡市子ども農業教室	
蒲郡市漁協女性部連絡協議会	一般市民魚料理教室、秋休み親子魚料理教室(水産物地産地消費事業業務委託)	
刈谷市	地元の食材をつかって親子で作ろう！ 『至高のしよくまる米料理 米(まい)・マイ・My！～しよくまる5人をそろえよう～』 コンテスト	
	パパと作ろう！しよくまるピザ	
	親子で楽しくクッキング！ ～しよくまるファイブのハッピーケーキ作り～	
	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
刈谷市立小垣江東幼稚園	さつまいも栽培と焼いもパーティー	
刈谷市立慈友保育園	野菜の栽培と食育	
刈谷市立日高保育園	野菜の栽培と食育	
刈谷市立富士松北保育園	刈谷の『大根』を育てよう！食べよう！	
刈谷市立富士松南保育園	「いいにおい！お米のにおいがする」小学生の食農体験の見学	
清須市	清須市食育まつり	24
清須市特産物振興委員会 (事務局:清須市市民環境部産業課)	清須市農業体験塾	
公益財団法人愛知県学校給食会	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛で朝ごはんコンテスト	
	親子食育体験教室	21
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	健康科学教室「牛乳ってすごい！～牛乳でバターづくり～」 「発見！やさいのパワー～やさいジュースづくり・うまみの実験～」	
公益社団法人愛知県栄養士会	食育料理講習会	23
幸田町	幸田町親子農業体験教室	21
幸田町青年農業会議 (事務局:幸田町産業振興課)	夏休み子ども農業体験教室	
小牧市	お祭りでの地元産野菜の販売	
武豊町家庭教育協議会	田んぼの教育	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
武豊町農業委員会	さつまいも作り体験	
田原市	野菜ソムリエの組織「ベジエール渥美」による食育講座	
知多市健康づくり食生活改善協議会 株式会社昭和、知多市 愛知県知多農林水産事務所	親子お魚教室	22
東郷町立南部保育園	食べることで好きになる子を地域で育てる	
東郷町和合保育園	クッキング体験	
飛島村	収穫体験学習	
飛島村健康づくり食生活改善協議会	飛島村おやこの食育教室	20
豊橋田原広域農業推進会議	食農教育推進事業(農協の柿の集出荷場の見学と次郎柿の収穫を体験)	
豊川市	「おいでん祭食育コーナー」の実施	19
	「おもてなしレシピグランプリ」の開催	
	「食育キッチンファーム」の開催	
西尾市	子育て世代の地産地消「団子ときな粉づくり教室」託児付き	
	西尾の梨を食べよう！親子で地産地消料理教室	
	稲づくり農業体験	
	のりを使ったアイデア料理コンテスト	
	地産地消！うどんづくり教室	
	プロに学ぶ！子どもたちが大好きな洋食をつくろう	
	親子でのりすき体験と塩づくり体験	
	親子で稲刈り体験と流しうどん	
半田市農業経営士会	食のフェスティバル	
半田市成岩児童センター	JA食農講座	
半田市立横川保育園	野菜の栽培や伝統行事を通して、季節感を感じ「食」に興味を持つ	
半田市立岩滑北保育園	さつまいも栽培、お芋パーティー	
半田市立協和保育園	実体験を通し「食」に関する興味を広げる	
半田市立板山こども園	ピザパーティー	
半田市立有脇保育園	園児農業体験	
半田市立清城保育園	野菜栽培からの調理保育	
半田市立花園保育園	野菜作りを通しての食育	
半田市立東保育園	「いっぱい とれたよ！」地域の老人クラブ「寿会」の方が育ててくれた玉ねぎやサツマイモの収穫	
半田市立平地保育園	さつまいもの栽培とやきいも交流会	
半田市立岩滑こども園	カレーライスパーティー	
	米作りを通しての食育	
碧南市社会福祉協議会 大浜保育園	夏野菜の栽培	
碧南市二葉乳幼児福祉会 二葉保育園	野菜の栽培体験	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
美浜町都市農村交流協議会 (事務局:美浜町役場産業振興課)	美浜ブルー・ツーリズム(グリーン・ツーリズム)を通じて食育体験	
碧南市社会福祉協議会西端保育園	とうもろこしの皮むき体験	
碧南市社会福祉協議会棚尾保育園	棚尾地区再青会の方たちとのサツマイモほり	
碧南市社会福祉協議会荒子保育園	地区の老人会の方たちともぎ取り体験	
碧南市社会福祉協議会新川保育園	保育園でスイカを育て食べる。	
碧南市立 築山保育園	枝豆の鞘取り体験	
碧南市立羽久手保育園	「夏野菜を育てよう！」保育園での夏野菜の栽培と収穫	
碧南市立築山保育園	野菜の栽培や収穫	
碧南市立築山保育園	地場野菜のもぎ取り体験	
碧南市鷺塚保育園	触れ合い農園の体験保育	
日本の食文化や郷土料理等の理解と継承		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県小中学校長会(一宮市立木曾川中学校)	【家庭科】調理と食文化「地域の食文化を知ろう」	
愛知県小中学校長会(幸田町立幸田中学校)	給食委員会を中心に各学級の取組 美食週間	
愛知県小中学校長会(知立市立西小学校)	給食時指導 正しく箸を持ち、動かしてみよう	
愛知県小中学校長会 (田原市立伊良湖岬中学校)	縦割り班ごとの会食 わくわく給食	
愛知県小中学校長会(碧南市立西端小学校)	食べて元気に～白しようゆ博士から学ぼう～	30
愛西市栄養教諭・学校栄養職員部会	あいさいさん☆給食コンクール	
愛知県食育消費流通課	郷土料理レシピ集『あいちの郷土料理レシピ 50 選』の作成・配布	25
愛知県教育委員会健康学習室	愛知を食べる学校給食の日	26
愛知県小中学校長会 (北名古屋市立白木中学校)	和食の食文化についての啓発活動～給食委員を中心として～	
愛知県園芸農産課	愛知県茶会	31
	茶育教室	
安城市	広報あんじょう食育特集 「大豆のおはなし～大豆農家の奥さんに聞きました」	
大口町立北保育園	食育指導(三色食品群、箸の持ち方、マナーについて)	29
大治町内小中学校	農産物生産者と児童生徒の交流	
岡崎市	食育総合展示会の開催「食育メッセ 2016」	31
	食文化の保護・継承のための調理体験等の実施	
尾張旭市	農政講座 「米粉クレープ作り」「いちじくジャム作り」等	
学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議 (委員:瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会、 あいち尾東農業協同組合、瀬戸総合卸売市場、 道の駅瀬戸しなの、農業者、有識者、瀬戸市教育委員会等)	学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討	27

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市	地元農産物を活用した学校給食提供時における生産者の学校訪問	
	親子で体験「おこしもの」づくり ～おこしものでしょくまるファイブを作ってみよう～	28
刈谷市教育委員会学校給食センター	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	
公益財団法人愛知県学校給食会	郷土料理講習会	28
	学校給食献立コンクール	
江南市立南部学校給食センター	愛知を食べる学校給食週間	
小牧市	小牧市生活改善実行グループ料理教室	
新城市食育推進協議会	八名丸を使って“亥の子のぼた餅”を作ろう	
東栄町立東栄小学校、東栄中学校	地元産食材を食べる	
東郷町	おせち料理教室	
西尾市	地産地消料理教室(お正月料理、恵方巻等)	
扶桑町守口大根漬物組合、株式会社扶桑守口食品、扶桑町	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	29
へきなん保育園 子育て支援センター	親子で食育(親子でのクッキング講座等)	
みよし市	市内の小学生とその保護者を対象としたおこしもの作り体験	
弥富市	愛知の郷土料理を味わう学校給食の日	



食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

食生活における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県環境活動推進課	環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布	
	エコアクション推進フェアの開催	
愛知県環境活動推進課、企業、環境配慮団体	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	33
愛知県教育委員会生涯学習課	愛知県ユネスコスクール交流会	33
愛知県小中学校長会(刈谷市立双葉小学校)	りきまるくん、完食チャレンジ	32
刈谷市	パパと作ろう！エコ・クッキング講座	
	親子で作ろう！エコ・クッキング講座	
刈谷市教育委員会学校給食センター	中学校1年生を対象とした給食訪問	
ごみゼロ社会推進あいち県民会議 (事務局:愛知県資源循環推進課)	先進事例の視察	

農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市農畜産業振興会 (事務局:愛西市産業振興課)	愛西市アグリぐるぐるスクール	
愛知県園芸農産課	小麦「きぬあかり」の普及推進	
愛知県食育消費流通課	株式会社デンソー本社の社員食堂で「刈谷市産フェア」開催！	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県農地計画課	羽布ダム水源地域交流フェスタ	34
	愛西市鶉戸川釣り大会	
	入鹿池「世界かんがい施設遺産」登録周年祭	
	農地・水・環境のつどい	
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	田んぼアート	35
あいち尾東農業協同組合及び尾張旭市	いちじく畑の見学	
安城市	安城マルシェinデンパーク～笑顔新発見！食と農から健幸へ～開催	36
尾張旭市観光協会	市役所ロビーでの特産品販売	
公益財団法人愛知県学校給食会	親子工場見学会～うずら卵のルーツを探ろう～	
生活協同組合コープあいち、あいち尾東農業協同組合	プチヴェールの収穫交流会	37
生活協同組合コープあいち、あいち豊田農業協同組合	JAあいち豊田稲作交流会 田植え、生き物観察、稲刈り	36
生活協同組合コープあいち、あいち中央農業協同組合、榎前環境保全会	JAあいち中央・榎前環境保全会 生きもの観察会	
飛島村	地産地消の啓発	
豊川市	「とよかわ農業市」の開催	35
半田市板山池田の農地を守る会	どろんこアカデミー	
農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県資源循環推進課	多量排出事業者における産業廃棄物処理計画書の作成	38
愛知県水産課	漁具改良試験	
東海地域飼料増産行動推進会議 (事務局:東海農政局畜産課)	エコフィードの利用を拡大するための研修会開催	38
 食育を支える取組		
食育にかかる人材の育成と活動の充実		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	地域食育推進ボランティア研修交流会の開催	40
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	CD「朝食に野菜も食べよう」の作成	
愛知県水産課	魚食普及のための料理講習会の開催	
岩倉市	岩倉市食生活改善推進員研修会	
岩倉市、岩倉市食生活改善推進員	愛知県食育推進ボランティアとして「ふれあい市場まつり2016」に参加	39
津島市	食生活改善推進員の活動援助と養成講座	
西尾市	食育啓発用クリアファイルの作成	
農村輝きネット・あいち	輝きネット・あいちの技人認定式及び研修会	40
東浦町	食からの健康づくり講座	

関係者の役割分担とネットワークの充実		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県栄養教諭、学校栄養職員研究協議会	食育講演会	42
公益社団法人愛知県栄養士会、生活協同組合 コープあいち、愛知県西三河農林水産事務所農 政課	西三河地域食育推進ボランティア研修交流会	41
愛知県食育消費流通課	あいち食育いきいきミーティング	
愛知県食育消費流通課	イベントでの食育推進ボランティアへの活動支援	
岩倉市健康づくり推進協議会	健康フェア(市民ふれ愛まつり)	42
岩倉市、保健推進員、食生活改善推進員	保健推進員活動における栄養教室	
大口町	食育担当実務者会議の開催	
尾張旭市教育委員会給食センター	ふれあい給食	
北名古屋市	朝ごはんを食べよう！キャンペーン	
小牧市	いきいきこまき(食育ブース)	
いいともあいち運動の推進		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	いいともあいち運動シンボルマークの愛称が「あいまる」に決定！	43
	いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進	
	いいともあいち交流会の開催	44

IV 地域における食育活動の表彰実績について

1 平成 29 年度「第 1 回食育活動表彰」

農林水産省が実施する「第 1 回食育活動表彰」の教育関係者・事業者部門において、西三河農業協同組合が農林水産大臣賞を、中部水産株式会社が消費・安全局長賞を受賞しました。

(1) 教育関係者・事業者部門 農林水産大臣賞 受賞

西三河農業協同組合

～「食」と「農」に対する理解促進のため、地域ぐるみで豊かな心を育む食育活動～

●活動内容

西尾市内の小学校 18 校の 5 年生を対象に、地域農業協力者や農協職員を指導者として迎え、教諭、PTA、地域住民の協力を得て米づくりの体験学習を実施し、田植え、かかし作り、稲刈り、収穫祭を行っています。

田んぼアートや泥リンピック、観察記録、バケツ稲との比較等、工夫をこらした独自の取組を展開しています。収穫祭では、餅つきを主に、箱寿司、押し寿司、巻き寿司、五平餅、みたらし、団子など、地域の伝統料理・郷土料理や食文化についても学ぶことができます。



この米作り体験学習は、毎年 3 月に、全小学校教諭、地域農業協力者、行政関係機関（東海農政局、愛知県、西尾市）が集まり、意見交換会を実施し、感想や改善点を共有して次年度の取組に反映するなど、地域が一体となって体験学習を継続できる体制が確立されています。

体験活動を支える地域の協力者にとっても、子どもたちとの交流は大きな励みとなっています。

西三河農業協同組合では、このような体験学習の他にも、小中学校での野菜作り体験学習、西尾市在住の親子を対象とした日曜学校、地域の団体と連携した米作り、農協各部会の行事（よいきゅうりの日、愛知県産小麦でうどん作りなど）を開催し、市民の方へ農業体験学習の場を広く提供して、農業に対する理解促進に努めています。



(2) 教育関係者・事業者部門 消費・安全局長賞 受賞

中部水産株式会社

「美味しく食べて楽しく学ぶ～中央卸売市場が受け継ぐ、知恵や工夫を大公開！～」

●活動内容

中央卸売市場の水産荷受け（大問屋）として、「地域社会との信頼を深め、豊かな食文化の創造に貢献する。」との企業理念のもと、地域に根付いた知恵と工夫を伝え、若い世代を中心に食文化の継承や食の楽しみを届ける食育活動を年間 30 回、約 2,500 人を対象に実施しています。



また、「愛知県食育推進ボランティア」や「なごや食育応援隊」に登録しており、県や市の食育活動に協力しています。食育活動では、市場流の「実物を見る、触る、食べる」をテーマに、活魚のタッチプールや鮮魚の実物展示、調理実習などを組み合わせた「おさかなゼミ」のほか、離乳食をテーマにした親子教室、自由研究教室を実施しています。

さらに食育ボランティアの方々等を対象にした「魚食普及セミナー」も開催しており、そこでは身近な水産品を使用し、誰にでも再現できる内容の授業などを行って、食育のリーダーとなる方々を応援しています。



また、管理栄養士を目指す大学生向けの出前授業も行っており、実際に魚をさばく実習と座学を組み合わせた専門性の高い内容となっています。

このような取組は 1975 年から地元紙で情報を発信しているほか、毎月 1 回ラジオ番組でも発信しています。ラジオ番組については、活動が本格化したこともあり、これまでより更に活動の幅を広げています。

今後も、物と人が集まる中央卸売市場の事業者として、地域に根付いた知恵と工夫を伝え、食の楽しみをお届けする活動を継続して展開していきます。

2 過去の各種表彰受賞実績

年度	受賞名	団体・個人名	取組概要
平成 27 年度	第7回 食育推進ボランティア表彰 【内閣府特命担当大臣表彰】	西村敬子(愛知教育大学名誉教授) (大府市)	子どもたちに栄養バランスや食の大切さを分かりやすく伝える「食まるファイブ」を研究室で学生と共に誕生させ、それを活用した食育啓発活動の推進を行った。
	第7回 食育推進ボランティア表彰 【内閣府特命担当大臣表彰】	名古屋学芸大学 Canteen (カンティーン) (日進市)	「適量で、栄養バランスのよい“ヘルシーメニュー”を多くの人に知ってもらおう。」ことを目的として、学生達が食事提供や栄養教室など、管理栄養士として働くための実践訓練として活動。
	第3回 食と農林漁業の食育優良活動表彰 【農林水産大臣賞(一般部門)】	特定非営利活動法人だいちきつず (高浜市)	高浜市内の小中学校等の親子を対象に、「食育」「共食」「ペイフォワード」をテーマとして、大豆の種まきから収穫、豆腐作りまでの一連の過程を体験する「だいちプロジェクト」等を実施している他、海外支援団体とも連携し、普遍性ある食育活動の普及を目指して活動。
平成 26 年度	第2回 食と農林漁業の食育優良活動表彰 【消費・安全局長賞(企業部門)】	合資会社 野田味噌商店 (豊田市)	木樽を使った昔ながらの味噌づくりの見学や、味噌、五平餅づくりの体験者受け入れなどの「味噌造り、五平餅造り体験を通じた食文化の伝承」の実施。
平成 25 年度	第1回 食と農林漁業の食育優良活動表彰 【消費・安全局長賞(一般部門)】	森川美保 (美浜町)	自宅を開放しての味噌作り教室の開催や、農業体験の受け入れ、食育講演会など「発酵を中心とした日本食文化の伝承、農業体験、食農教育活動」の実施。
平成 22 年度	第2回 食育推進ボランティア表彰 【内閣府特命担当大臣表彰】	だいちきつず倶楽部 (高浜市)	農家の協力の下、地域の子どもたちと大豆の種まきから収穫、その収穫した大豆で豆腐づくりを行う「自分で作って食べる」活動を、年間を通して実施。

※「食育推進ボランティア表彰」及び「食と農林漁業の食育優良表彰」は、平成 29 年度から「食育活動表彰」に統合されました。

V 食育推進に関する問合せ先

◎愛知県

名 称	電話・ファクシ	電子メール・URL
農林水産部食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL http://www.pref.aichi.jp/shokuiku
健康福祉部医療福祉計画課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6265 FAX 052-953-6367	E-mail iryofukushi@pref.aichi.lg.jp URL http://www.pref.aichi.jp/iryofukushi
教育委員会事務局保健体育 スポーツ課健康学習室 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail kenkogakushu@pref.aichi.lg.jp URL http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/kenkogakushu

◎関係団体等

名 称	電 話	URL 等
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	—	http://www.aichi-ek.com/
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	http://www.aikeikyo.com/
愛知県国公立幼稚園・子ども園長会	052-961-5506	(問合せ先 名古屋市立第一幼稚園)
愛知県小中学校 PTA 連絡協議会	052-251-8820	http://www.aichi-syoucyuu-p.com/
愛知県小中学校長会	052-261-8152	http://www.aikocho.ec-net.jp/
愛知県食生活改善推進員連絡協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	http://www.chu.aichi-ja.or.jp/
愛知県農業経営士協会	052-954-6413	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	http://www.aichi8020.net/
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	http://kenaicho.la.coocan.jp/
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-231-2261	http://www.apha.jp/
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	http://aigaku.org/
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0205	http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4151	http://www.aichi.med.or.jp/
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	http://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	http://www.aichi-fukushi.or.jp/
生活協同組合コープあいち	052-703-1501	http://www.coop-aichi.jp/
日本チェーンストア協会中部支部	0587-24-8141	(事務局 コニー株式会社内)
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	http://www.rengo-aichi.or.jp/
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農林水産部食育消費流通課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6396 (ダイヤルイン) E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp

「食育ネットあいち」ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/index.html>

デザイン/愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



2017年版